

機関投資家様向け会社説明会

2017年12月4日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



平成29年度中間期の業績概要

平成29年度中間決算の概要(グループ連結)

(億円)		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年 同期比	H29年度 通期予想
経常収益	1	846	816	▲ 29	1,550
コア業務粗利益	2	498	546	47	
うち資金利益	3	434	460	25	
うち役務取引等利益	4	77	91	14	
うちその他業務利益	5	▲ 23	▲ 21	1	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	399	344	▲ 54	
コア業務純益	7	99	201	101	
臨時損益	8	88	49	▲ 38	
うち株式等関係損益	9	73	56	▲ 16	
経常利益	10	251	272	20	480
親会社株主に帰属する中間純利益	11	169	187	18	325
与信関係費用(△)	12	▲ 27	▲ 10	17	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

減収増益

- ・経常収益は資金運用収益は増加したものの、国債等債券売却益や株式等売却益の減少により、816億円となり、前年同期比▲29億円。
- ・経常利益は272億円となり、前年同期比+20億円。
- ・親会社株主に帰属する中間純利益は187億円となり、前年同期比+18億円。

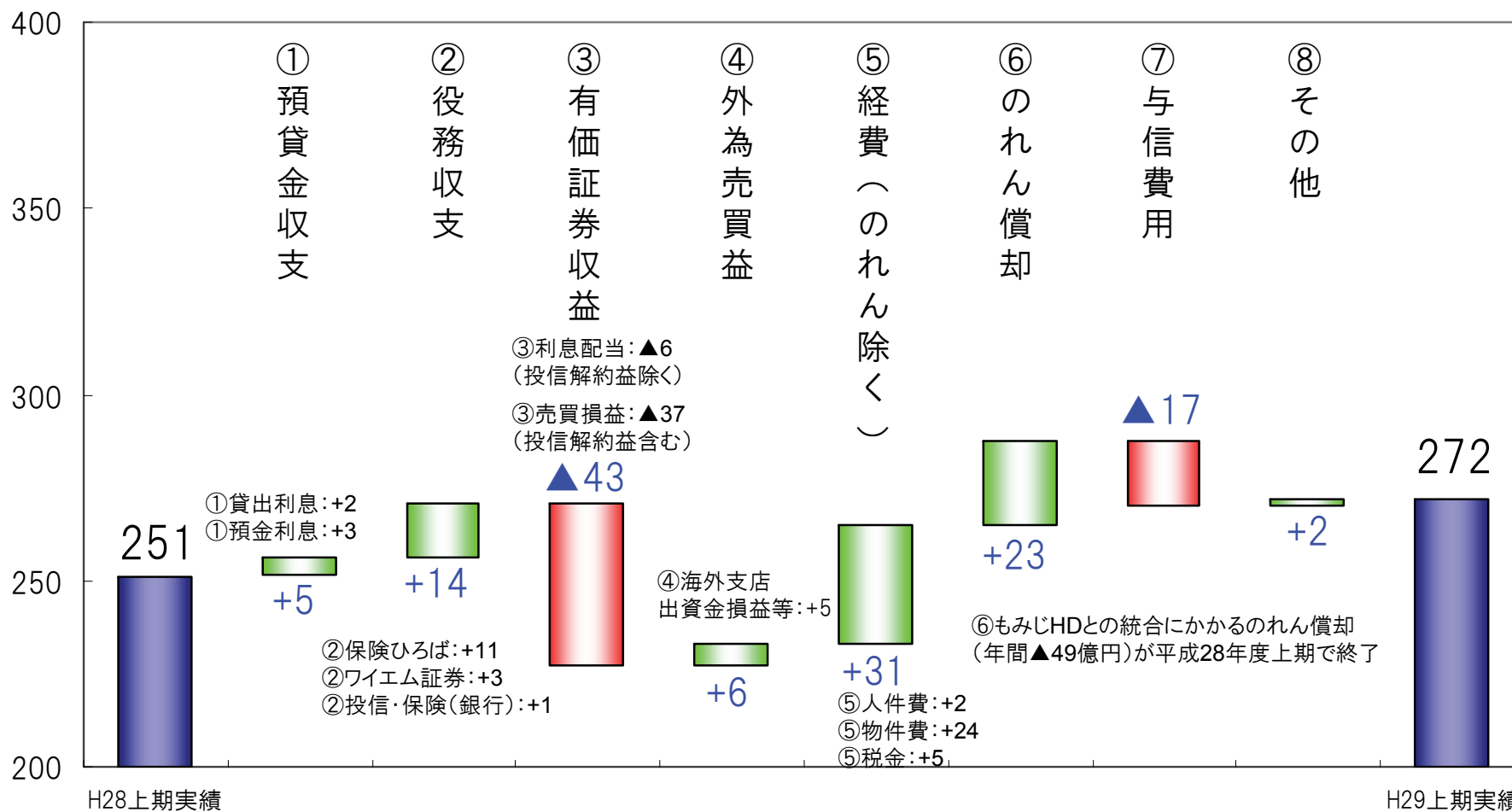
連単差

3行合算中間純利益	201億円
のれん償却費	△1億円
FG連結調整等	△11億円
YMFG連結中間純利益	187億円

連結経常利益 増減要因(平成28年度上期⇒平成29年度上期)

【FG連結経常利益】

(単位:億円)



平成29年度中間決算の概要(3行合算)

(億円)		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年 同期比	H29年度 通期予想
経常収益	1	751	708	▲ 43	1,360
コア業務粗利益	2	463	493	30	
うち資金利益	3	436	462	26	
うち役員取引等利益	4	57	61	3	
うちその他業務利益	5	▲ 31	▲ 30	0	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	354	286	▲ 67	
コア業務純益	7	109	207	97	
臨時損益	8	68	37	▲ 31	
うち株式等関係損益	9	73	54	▲ 18	
経常利益	10	262	274	11	435
中間純利益	11	183	201	17	300
与信関係費用(△)	12	▲ 27	▲ 10	17	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

- ・経常利益は274億円となり、前年同期比+11億円。
- ・中間純利益は201億円となり、前年同期比+17億円。

資金利益

単位:億円

3行合算	H29/9	前年同期比
資金利益	462	26
預貸金収支	348	5
貸出金利息	372	1
預金利息	23	▲ 3
有価証券利息	121	24
投信解約益	53	29
その他	▲ 7	▲ 3

平成29年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H28年度 中間期	H29年度 中間期	H29年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	393	422	29	790
業務粗利益	2	299	285	▲ 13	
資金利益	3	235	252	17	
役務取引等利益	4	35	38	3	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	28 (58)	▲5 (21)	▲33 (▲36)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	168	138	▲ 29	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	130	147	16	
コア業務純益	9	72	125	52	
臨時損益	10	▲ 5	40	45	
うち株式等関係損益	11	4	49	45	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	▲ 0	
うち貸倒引当金戻入益	13	5	1	▲ 3	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	125	187	62	280
特別損益	16	▲ 0	3	4	
税引前中間純利益	17	125	191	66	
中間純利益	18	86	137	50	195
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 4	▲ 1	3	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

増収増益

- ・経常収益は資金運用収益や株式等売却益の増加を主因とし、422億円となり、前年同期比+29億円。
- ・経常利益は187億円となり、前年同期比+62億円。
- ・中間純利益は137億円となり、前年同期比+50億円。

資金利益

単位:億円

山口銀行	H29/9	前年同期比
資金利益	252	17
預貸金収支	184	6
貸出金利息	199	4
預金利息	14	▲ 1
有価証券利息	72	12
投信解約益	28	18
その他	▲ 4	▲ 1

平成29年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年同期比	H29年度 通期見込
経常収益	1	308	224	▲ 84	430
業務粗利益	2	171	171	▲ 0	
資金利益	3	149	156	7	
役務取引等利益	4	19	19	0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	2 (5)	▲5 (▲0)	▲8 (▲5)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	138	107	▲ 30	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	33	63	30	
コア業務純益	9	28	64	36	
臨時損益	10	81	0	▲ 80	
うち株式等関係損益	11	67	4	▲ 63	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	0	
うち貸倒引当金戻入益	13	10	5	▲ 4	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	114	63	▲ 50	125
特別損益	16	▲ 0	1	1	
税引前中間純利益	17	113	65	▲ 48	
中間純利益	18	81	47	▲ 33	85
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 9	▲ 4	4	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収減益

- ・経常収益は株式等売却益や国債等債券売却益の減少を主因とし、224億円となり、前年同期比▲84億円。
- ・経常利益は63億円となり、前年同期比▲50億円。
- ・中間純利益は47億円となり、前年同期比▲33億円。

資金利益

単位:億円

もみじ銀行	H29/9	前年同期比
資金利益	156	7
預貸金収支	112	▲ 3
貸出金利息	118	▲ 4
預金利息	5	▲ 1
有価証券利息	46	11
投信解約益	24	11
その他	▲ 2	▲ 1

平成29年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年同期比	H29年度 通期見込
経常収益	1	78	72	▲ 6	140
業務粗利益	2	55	57	2	
資金利益	3	52	53	1	
役務取引等利益	4	3	3	0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (-)	0 (0)	0 (0)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	47	40	▲ 6	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	8	17	8	
コア業務純益	9	8	17	8	
臨時損益	10	14	4	▲ 9	
うち株式等関係損益	11	1	0	▲ 0	
うち不良債権処理額(△)	12	▲ 0	0	0	
うち貸倒引当金戻入益	13	12	3	▲ 8	
うち償却債権取立益	14	-	-	-	
経常利益	15	22	22	▲ 0	30
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0	
税引前中間純利益	17	22	22	▲ 0	
中間純利益	18	15	16	0	20
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 12	▲ 3	8	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収増益(中間純利益ベース)

- ・経常収益は資金運用収益は増加したものの、貸倒引当金戻入益の減少により、72億円となり、前年同期比▲6億円。
- ・経常利益は22億円となり、前年同期比▲0億円。
- ・中間純利益は16億円となり、前年同期比+0億円。

資金利益

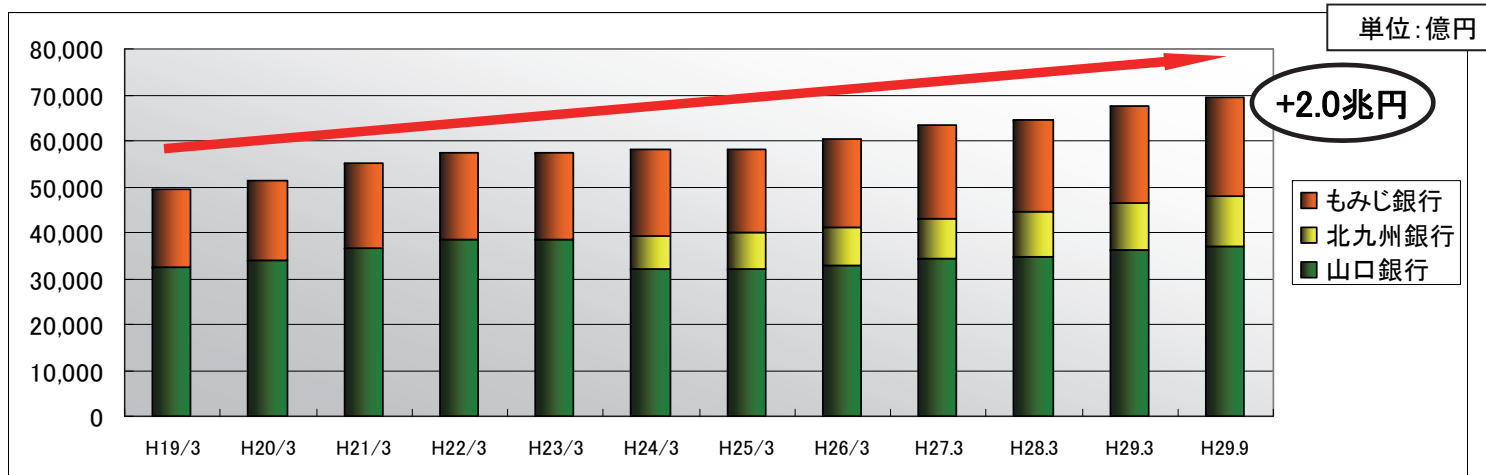
単位:億円

北九州銀行	H29/9	前年同期比
資金利益	53	1
預貸金収支	51	2
貸出金利息	54	1
預金利息	2	▲ 0
有価証券利息	2	0
投信解約益	-	-
その他	▲ 0	▲ 0

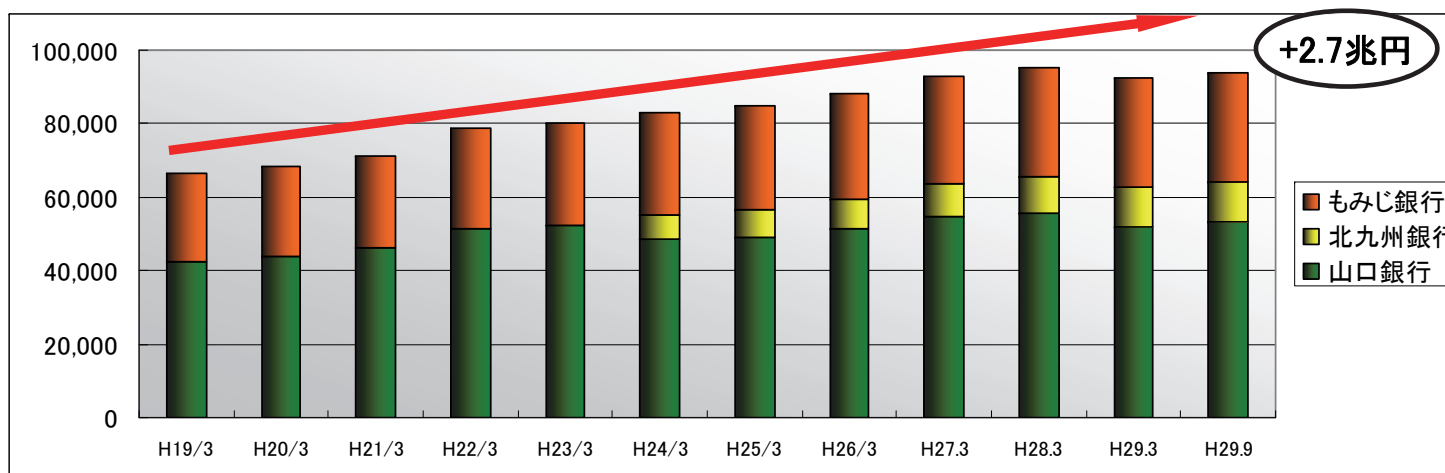
預貸金の状況

- ▶ 3行合算で、貸出金は平成29年3月比+1,798億円、預金は平成29年3月比+1,240億円。
- ▶ 設立11年で、貸出金は約2.0兆円、預金は約2.7兆円の増加。

貸出金
(末残)



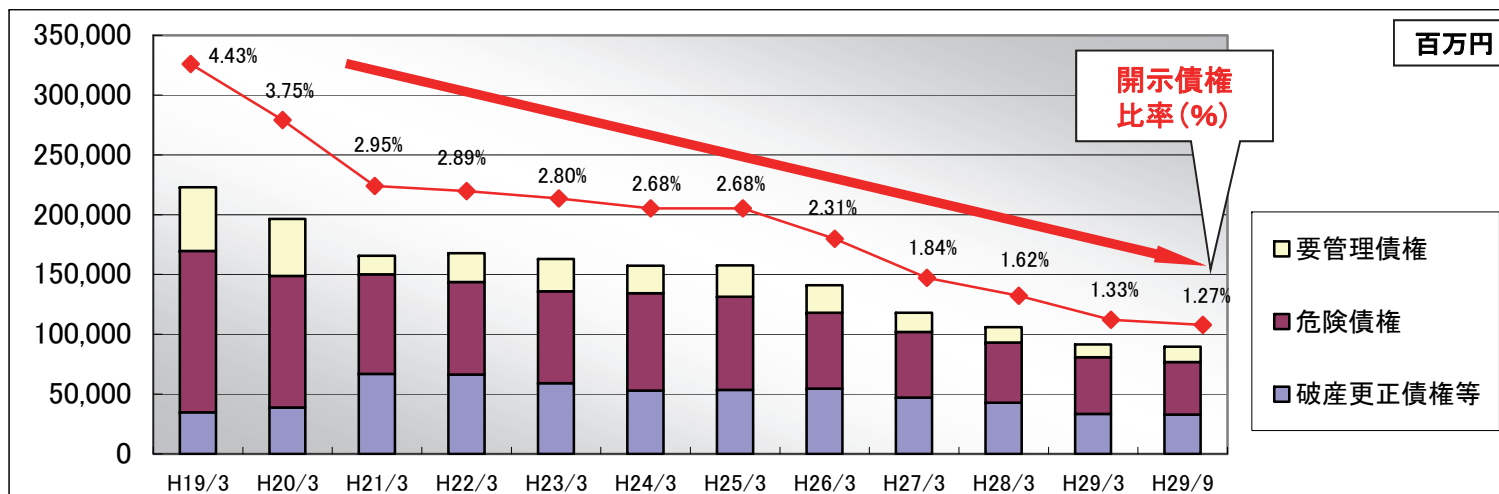
預金
(末残)



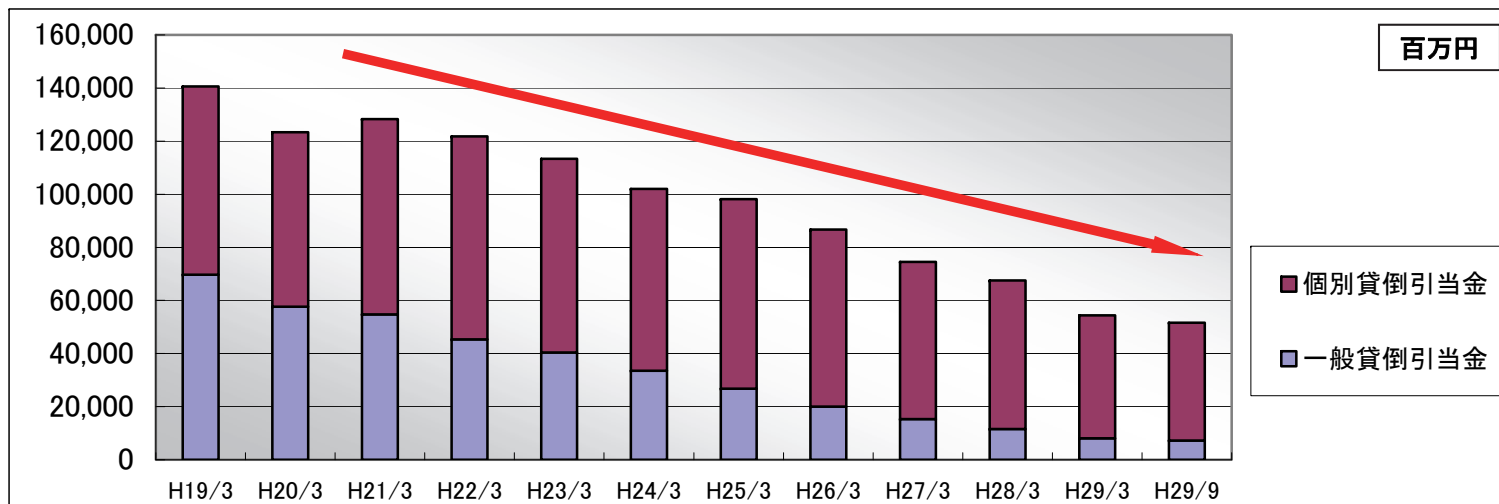
不良債権の状況

▶ 金融再生法開示債権残高は年次減少、平成29年9月期の同比率は1.27%と最低水準を更新。

金融再生法開示債権残高
(3行合算)



貸倒引当金の状況

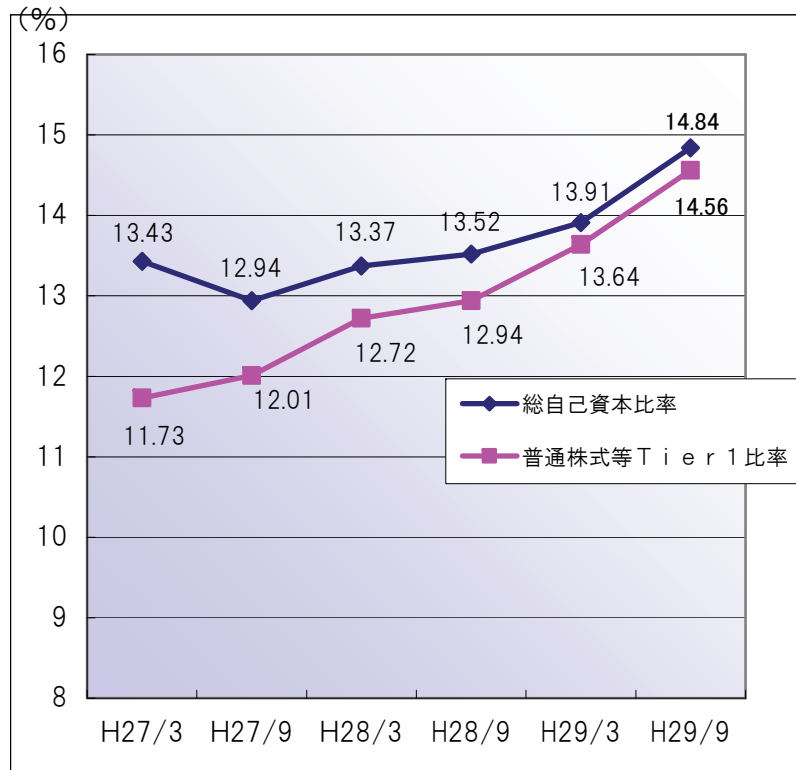


自己資本比率の推移

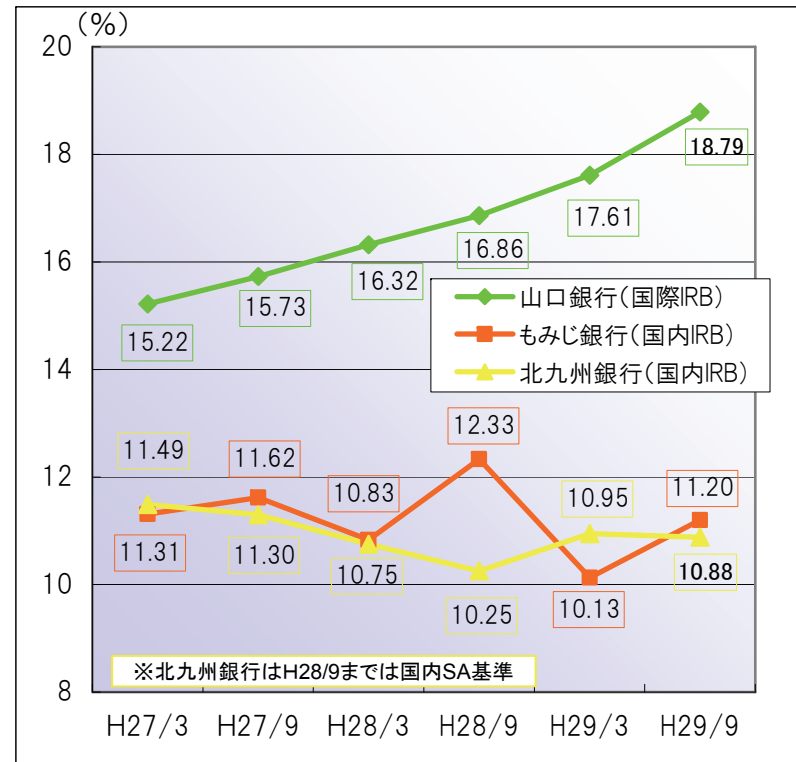
- ▶ 山口FGの連結総自己資本比率、平成29年9月末 14.84% (前年同期比+1.32%)。
- ▶ 山口銀行(単)18.79% (前年同期比+1.93%)、もみじ銀行(単)11.20% (前年同期比▲1.13%)、北九州銀行(単)10.88% (前年同期比+0.63%)。

自己資本規制強化の流れもあり、引き続き十分な資本水準の確保を行う。

山口フィナンシャルグループ連結



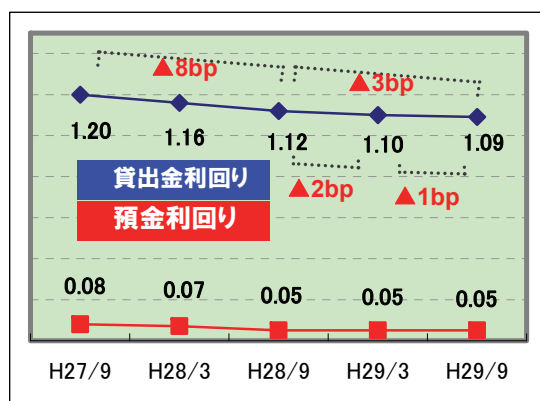
グループ3行の自己資本比率



預貸金利回りの状況

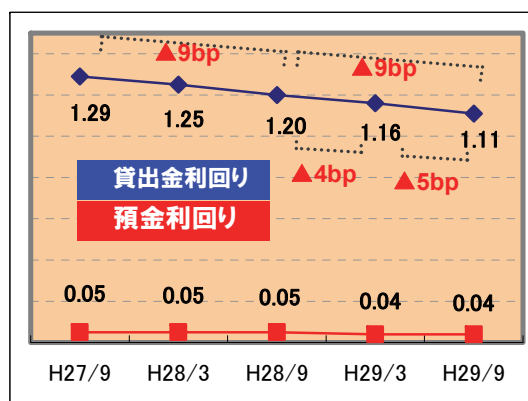
- ▶ 貸出金利回りはグループ3行にて前年同期比▲0.03～▲0.09%。
- ▶ 貸出金利息ベースでは山口銀行・北九州銀行が前年比プラスへ。

山口銀行



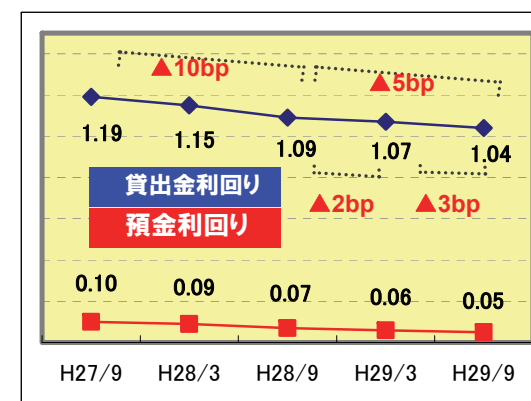
	(%)		
	H28/9	H29/9	前年比
貸出金利回	1.12	1.09	▲0.03
預金等利回	0.05	0.05	▲0.00

もみじ銀行



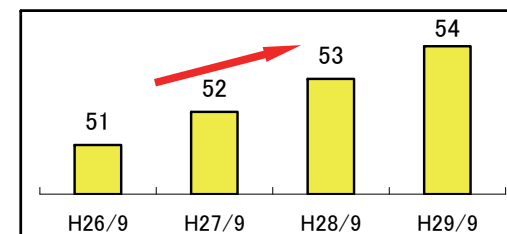
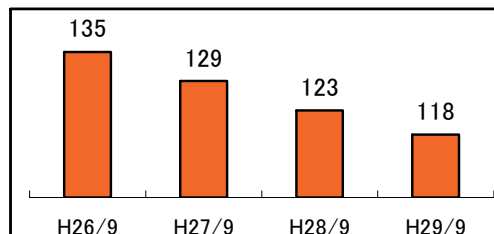
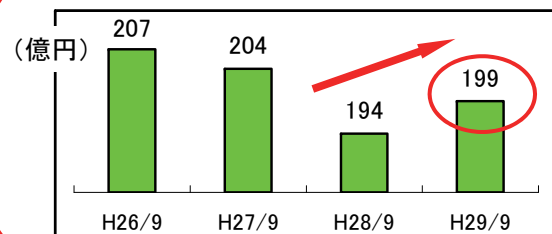
	(%)		
	H28/9	H29/9	前年比
貸出金利回	1.20	1.11	▲0.09
預金等利回	0.05	0.04	▲0.01

北九州銀行



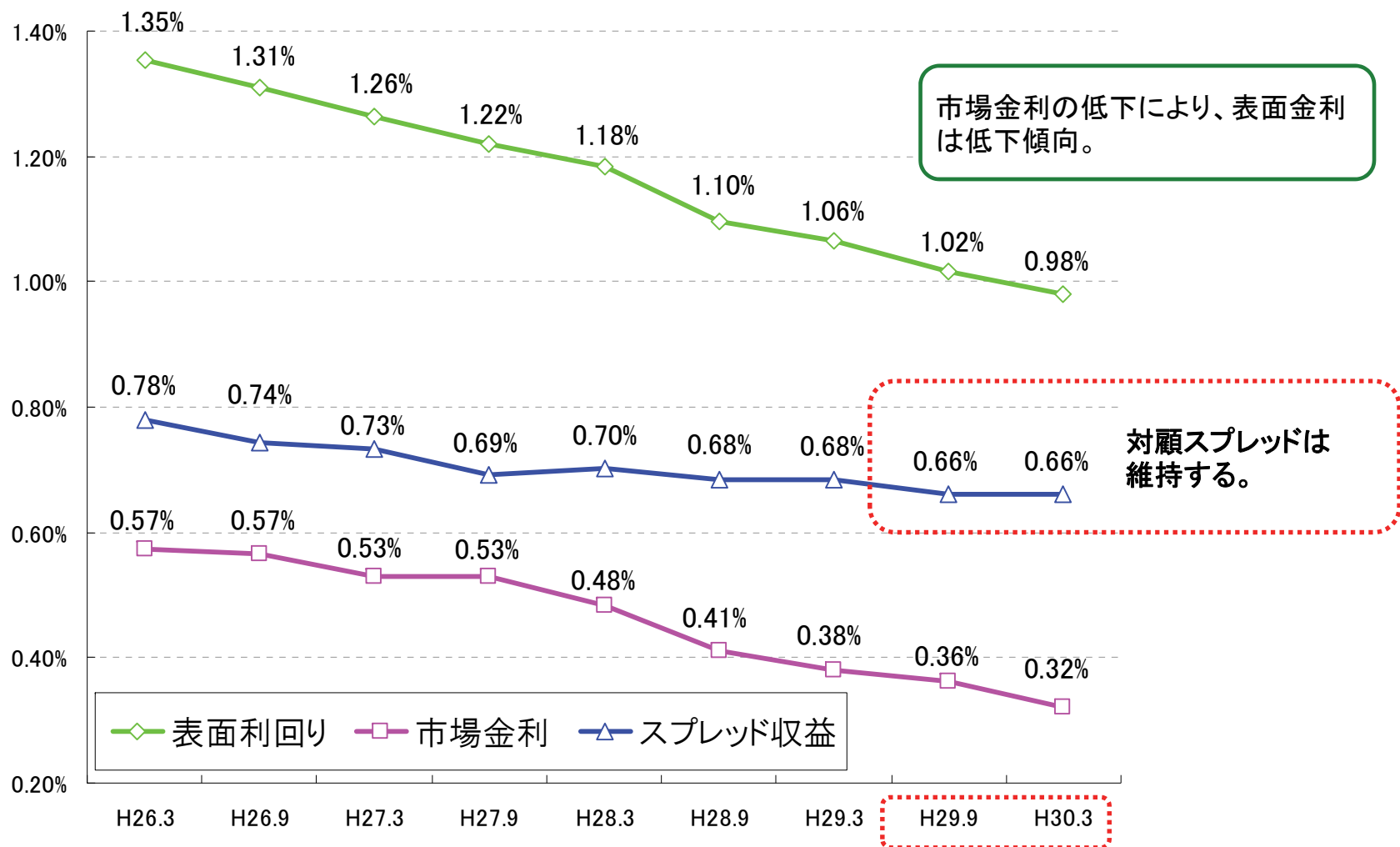
	(%)		
	H28/9	H29/9	前年比
貸出金利回	1.09	1.04	▲0.05
預金等利回	0.07	0.05	▲0.02

(ご参考: 貸出金利息額) 北九州銀行につづき山口銀行も貸出金利息額で前年比プラスに転じている。



(ご参考) 邦貨貸出金利回りの推移

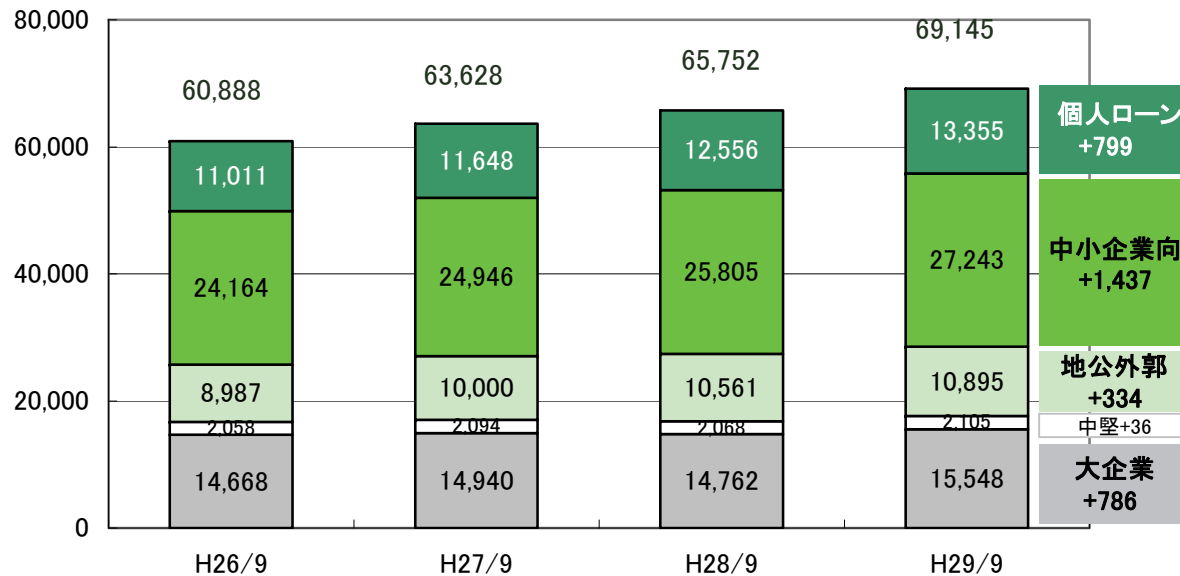
【邦貨貸出金利回り】



貸出金の内訳(3行合算)

- ▶ 貸出金(3行合算)については、中小企業等向け・個人ローン(特に住宅ローン)が着実に伸長。
- ▶ 引き続き、事業性評価やライフプランニングを実践するなかで増強していく。

貸出金末残内訳別推移 (国内店;単位:億円)



H29/9実績(個人ローン・中小企業向け)

【個人ローン】
 ◆H28/9比+799億円(年率6.4%)
 住宅ローン+795億円
 その他ローン+4億円

【中小企業等向け】
 ◆事業性評価の着実な実践により、
 H28/9比+1,437億円(年率+5.6%)

中小企業向けと個人ローンを中心に貸出金増強を図っていく。

【参考】各主要地域の貸出金年率(3行合算)

主要エリア	対前年伸び率※
山口県	2.2%
広島県	4.8%
北九州市	5.1%

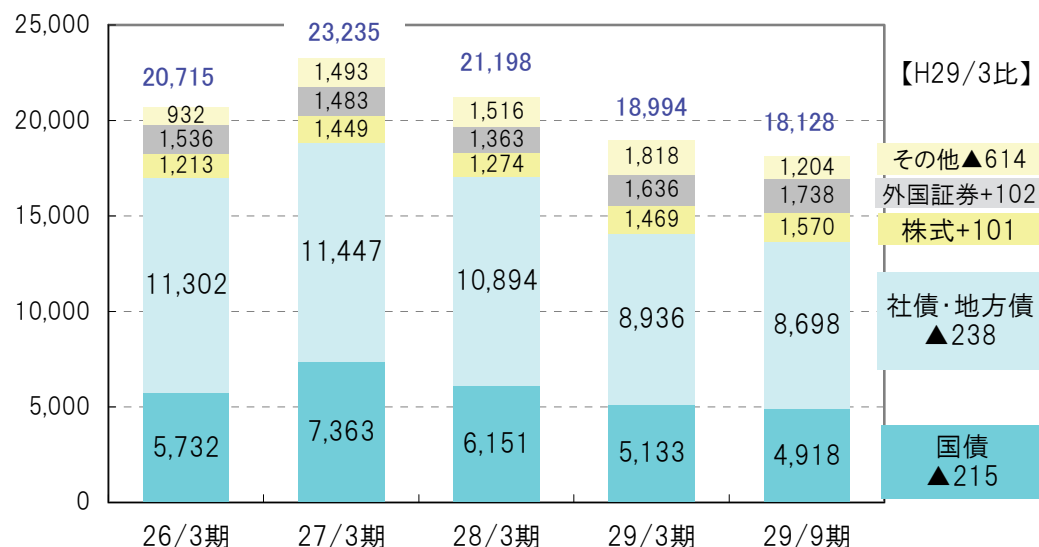
※H29/9期とH28/9期の比較

主要エリア別でみると山口県で約2%程度、広島県・北九州市は約5%の伸び率となっている。

有価証券ポートフォリオ

有価証券運用については、内外金利上昇への耐久性を高めるため、株式投信・外債ファンドの資産配分を上げたポートフォリオ運営を行っていく。

有価証券残高推移(億円)



【H29/3比】

その他▲614
 外国証券+102
 株式+101
 社債・地方債▲238
 国債▲215

【外国証券、その他(投資信託)】

・資産配分をやや増加させる運用を基本スタンスとする。

【国内債券(国債・地方債・社債)】

・国債はデフレーションをやや長期化させ、金利リスクをヘッジしながら収益確保していく。
 ・社債は約8割を政府保証債にて運用中(今後も同様方針)。

保有債券デュレーション(年)

	H27/9	H28/3	H28/9	H29/3	H29/9	H29/3比
	山口銀行					
国内債	4.49	4.72	4.72	5.35	5.53	0.18
外国債	4.67	4.45	4.58	5.05	4.42	▲0.63
もみじ銀行						
国内債	3.81	4.15	5.00	5.75	5.74	▲0.01
外国債	2.22	2.94	3.77	4.05	5.49	1.44
北九州銀行						
国内債	9.46	8.19	7.81	7.30	7.05	▲0.25
外国債	-	-	-	-	-	-

有価証券評価損益(平成29年9月期:億円)

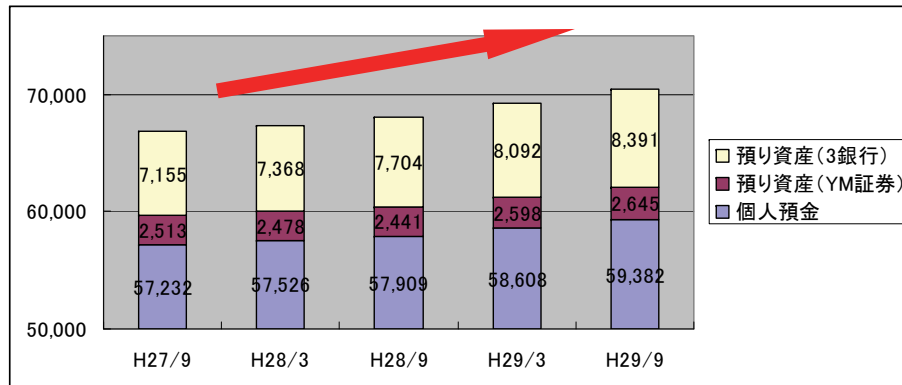
	山口	もみじ	北九州	FG連結	H29/3比
	株式	669	46	201	
債券	61	13	5	80	▲19
その他	▲41	▲38	-	▲79	37
合計	689	22	207	917	122

役務収益の状況

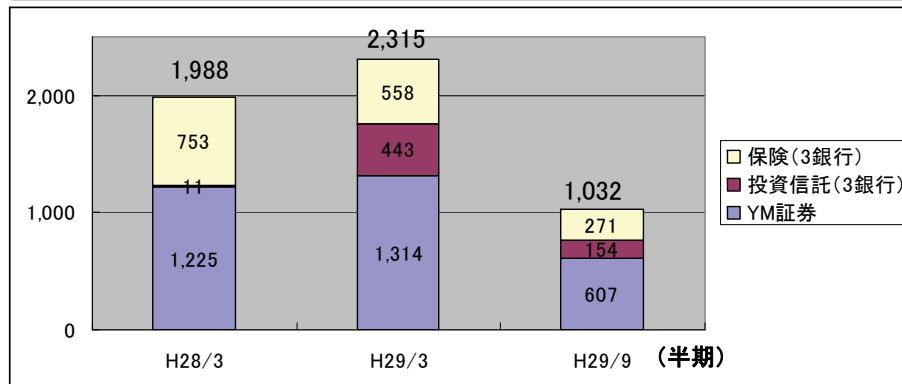
個人預り資産残高積み上げにより、グループ3銀行の預り資産手数料(証券仲介+保険+投資信託)は約37億円(前年同期比+約7億円)と堅調に推移。

●個人預り資産残高推移(億円)

グループ全体の個人預金を含めた預り資産残高は堅調に増加。

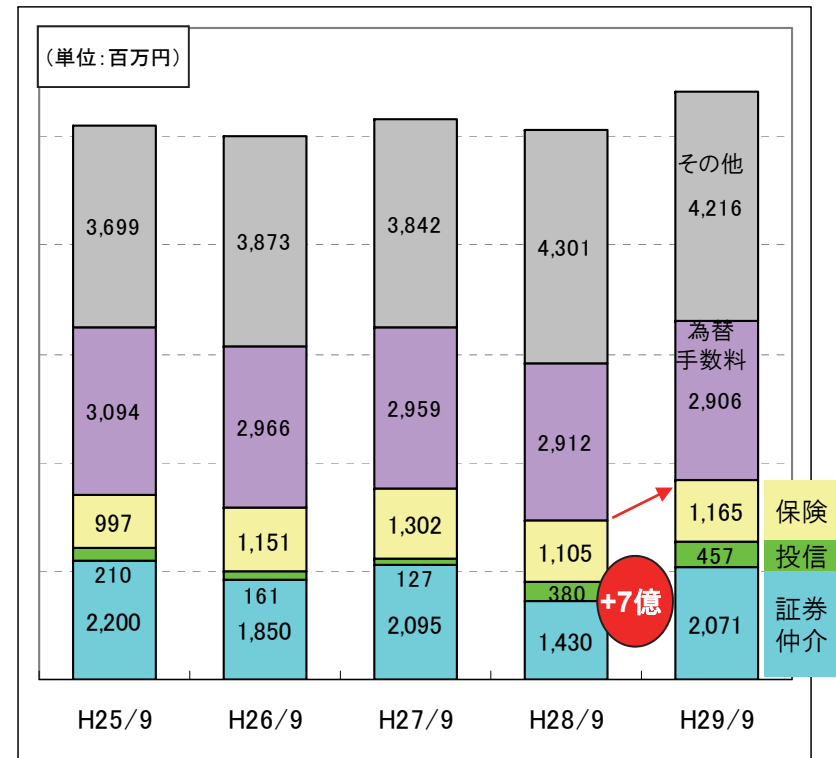


●個人預り資産販売額(億円)



●役務収益の推移(3銀行)

預り資産手数料(証券仲介+保険+投資信託)は約37億円(前年同期比+約7億円)となった。



平成29年度業績予想について

平成29年度決算見込み(グループ連結)

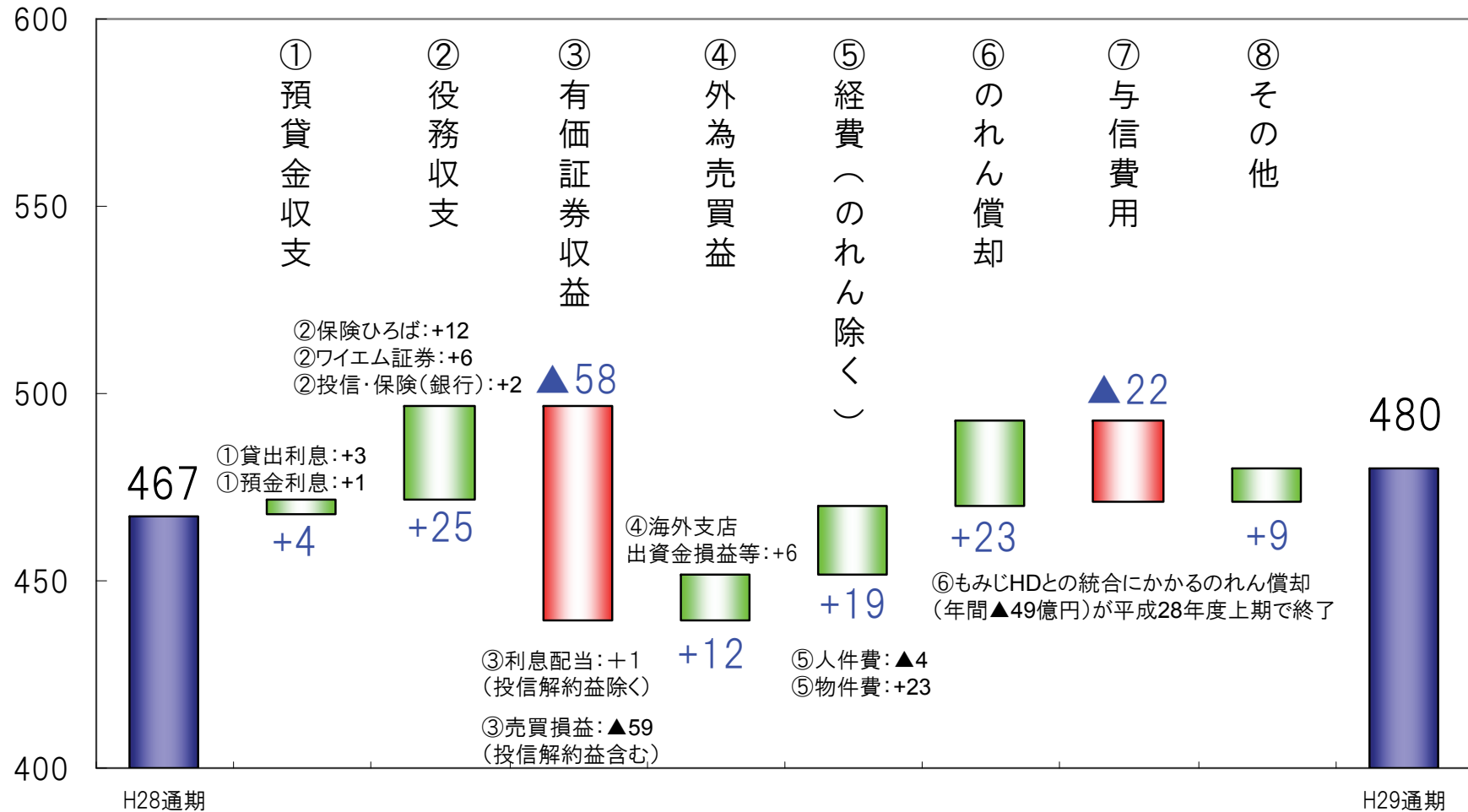
平成29年度通期決算については、経常利益で480億円(前年同期比+13億円)、当期純利益で325億円(前年同期比+10億円)を見込む。

	平成28年9月期 (実績)	平成29年9月期 (実績)	前年同期比		平成29年3月期 (通期:実績)	平成30年3月期 (計画)	前年同期比
コア業務粗利益	499億円	546億円	+47億円		1,040億円	1,070億円	+30億円
(うち預貸金収支)	(343億円)	(348億円)	(+5億円)		(688億円)	(692億円)	(+4億円)
(うち役務取引等利益)	(77億円)	(91億円)	(+14億円)		(170億円)	(195億円)	(+25億円)
経常利益	251億円	272億円	+21億円		467億円	480億円	+13億円
親会社に帰属する 当期純利益	169億円	187億円	+18億円		315億円	325億円	+10億円
1株当たり配当	10円	10円	±0円		18円	20円	+2円
貸出金平残(3行合算)	64,587億円	68,003億円	+3,416億円		65,599億円	69,092億円	+3,493億円
貸出金利回り	1.14%	1.09%	▲0.05%		1.13%	1.08%	▲0.05%
(ご参考)							
3M Tibor(平均)	0.07%	0.06%	▲0.01%		0.06%	0.06%	±0.00%
10年国債(平均)	▲0.13%	0.04%	+0.17%		▲0.05%	0.07%	+0.12%
日経平均株価(平均)	16,500円	19,700円	+3,200円		17,500円	21,000円	+3,500円

連結経常利益 増減要因(平成28年度通期⇒平成29年度通期)

【FG連結経常利益】

(単位:億円)



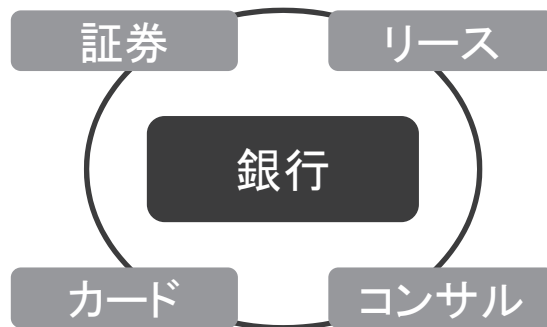
今後の成長戦略について

今後のビジネスモデルの骨子について

従来のYMFGビジネス

ビジネス
モデル

預貸金中心の銀行ビジネス



預貸金を中心とした銀行ビジネスの母体

預貸金から得られる情報活用

今後のYMFGビジネス

情報・ネットワーク・リレーションを活用する
価値創造型ビジネス



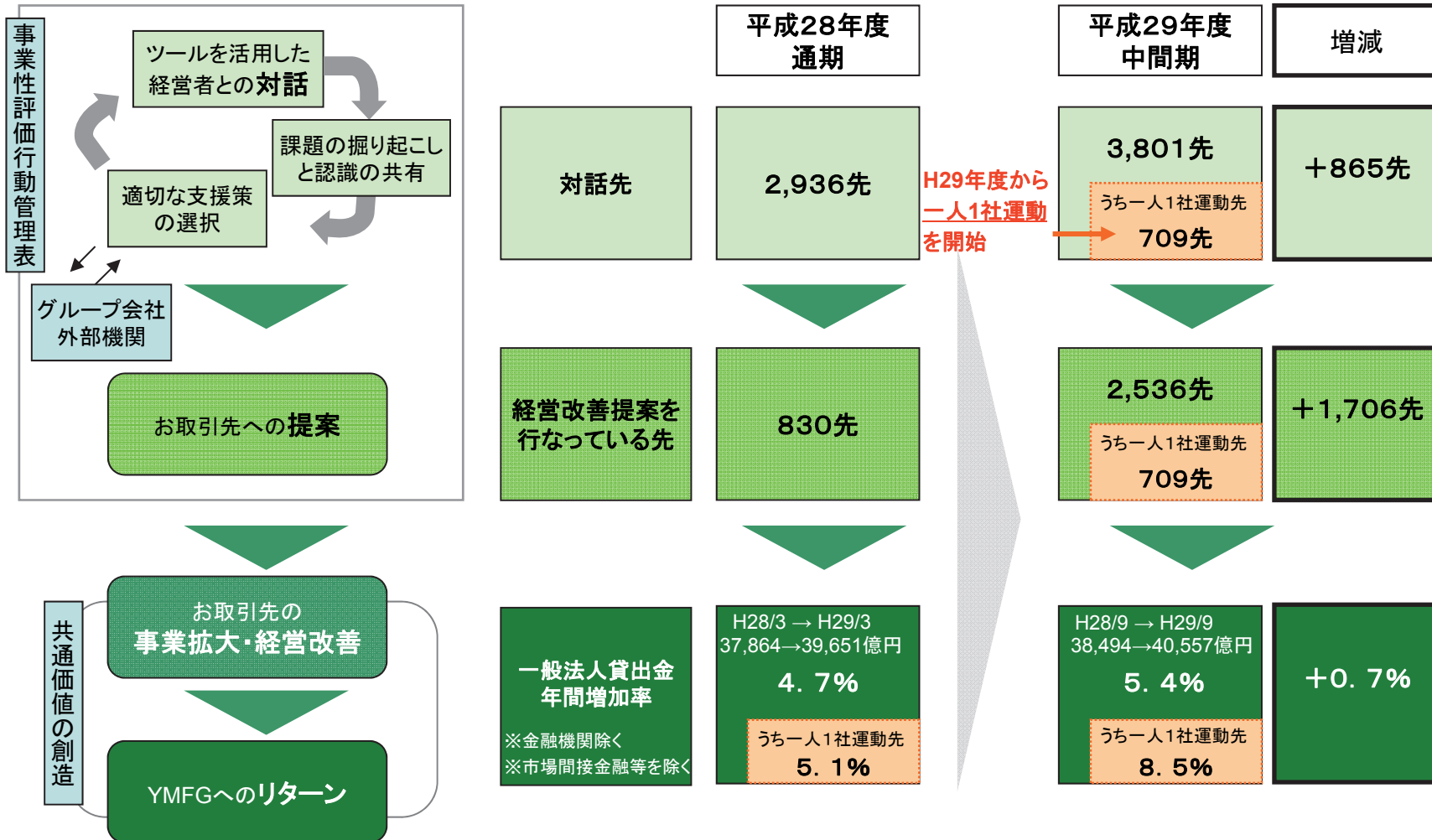
銀行

情報収集・分析、ネットワーク・リレーション構築
のためのプラットフォーム

リレーションから得られる情報活用

事業性評価の実践

- ▶ お取引先との対話・提案・成約といった業務プロセスを見える化(事業性評価行動管理表)。
- ▶ 特に注力するお取引先を一人1社運動として展開。
- ▶ お取引先の企業価値の向上とYMFGの収益基盤増強という共通価値の創造を図る。



下期より一人2社運動を行い、さらなる活動の活発化を図る。

ライフプランニング・アプローチへの転換

YMFGお客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)のもと、グループ会社とのクロスセル・連携を深め、ニーズを深掘りしていく。

グループ内クロスセル体制

保険ひろば 保険ひろば+

商業施設内に立地し
銀行接点の薄い層へアプローチ

LPS(ライフプランシミュレーション)
を入口とした保険診断

3.14商品 LPS活用	>	1.42商品 LPSなし
-----------------	---	-----------------

※LPSを入口としたライフプランニングの有効性は**クロスセル率**で実証(直近社内データ)

YMFG 山ロフィナンシャルグループ
ワイエム証券

富裕層向けアセットプランニング
法人営業の強化

顧客基盤の増強のため、銀行からの送客強化(H29/10より)

1,018件 (H28通期)	▶	484件 (H29/10のみ)
-------------------	---	--------------------

※H29/10のみでH28年度通期の47%進捗

山口銀行 **もみじ銀行** **北九州銀行**

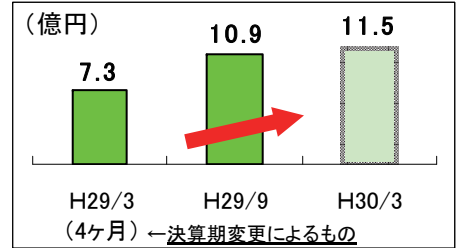
銀行顧客データの活用、職域営業による顧客接点強化

- ローン拠点15拠点でライフプランニング業務を開始(H29/8)
(ローン+人生設計サービスを休日でも可能に)
- Web上でインターネット投信の開始(H29/10)
- 渉外用タブレットをグループ3行全体で1,200台導入(4~9月)

保険ひろば

●西日本以西で50拠点網
⇒保険ひろばで銀行代理業取得を目指し、銀行への案件媒介可能へ。

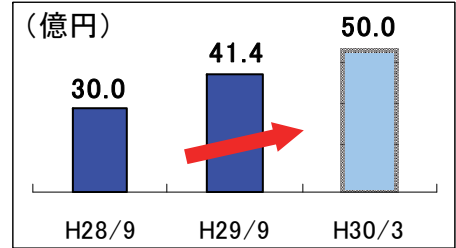
●受取手数料額推移(保険ひろば)



ワイエム証券

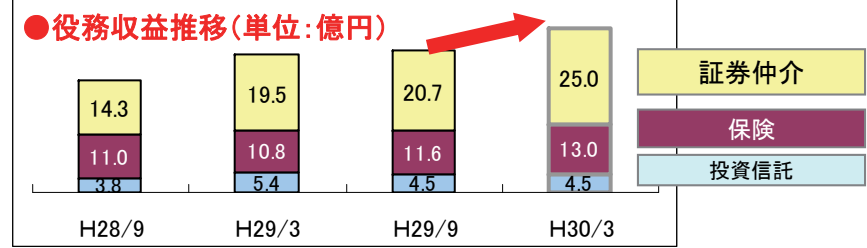
●50名の営業を増員(H29/上)し、幅広いリスク性商品(投信・株式・仕組債)の提案態勢を強化していく。

●営業収益額推移



グループ3銀行窓販

●ライフプランシミュレーションを入口とした相談体制構築



今後

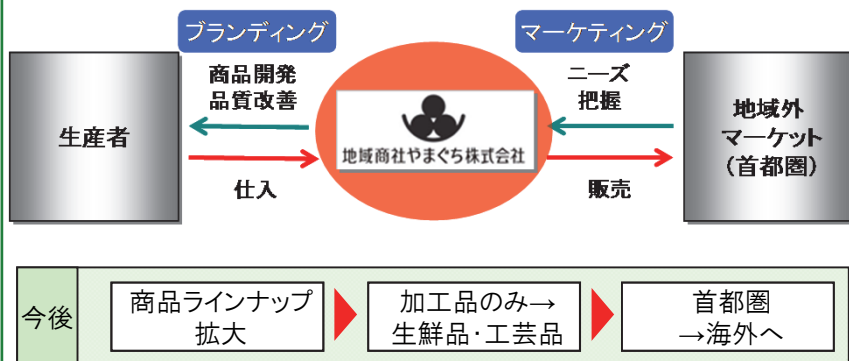
- タブレットでお客さまとのWeb面談を想定したシステムへ
- 戦略的コールセンター創設

地方創生への取り組み

主要エリアにおいて様々な地方創生への取り組みを実施しています。

地域商社やまぐち株の設立(平成29年10月)

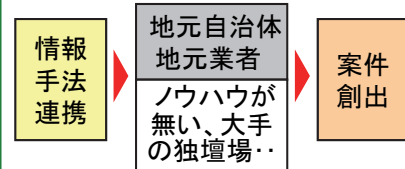
・県内の優れた産品を首都圏に売り込む取組み。「やまぐち三ツ星セレクション」という地域ブランドとして付加価値を付けて展開する。



“まちづくり”に向けた取り組み

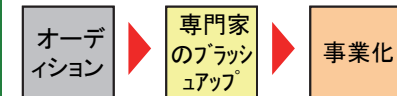
PPP/PFIへの取組み

- ・YMFGZONEプランニングが国土交通省のPPP協定パートナーに認定
- ・H29年9月より全4回それぞれ3会場で「PPP/PFIセミナー」を国交省の後援にて開催。
- ・セミナーでは地元自治体と地元業者等が参加、積極的なPPP/PFI活用を促進させる。



温泉街再生プログラム

- ・YMFGが主体となり、長門湯本温泉へ全国から事業者を呼び込み、オーディションを実施(12月)。
- ・温泉街の空き家・空き店舗を活用した新事業展開を支援、温泉街全体の面的活性化へ繋げていく。
- ・YMFGZONEプランニング主体で実施しており、グループとしてのノウハウ蓄積、他地区への展開へ結びつける。



新事業創出に向けた取り組み

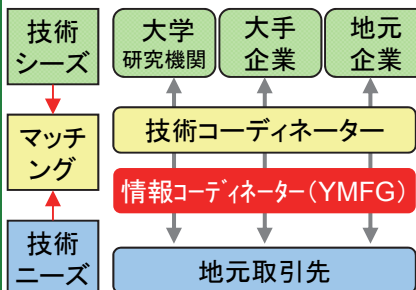
新事業創造プログラム

(株)ゼロワンブスターと共同でベンチャー企業・起業家へ事業立ち上げに必要とされる知識習得や、ビジネスアイデアの具体化を支援し、4ヶ月に亘るプログラムをH29年10月より開催。



広域技術マッチング

大学・研究機関・大手企業等が有する技術シーズと地元企業の技術ニーズをYMFGが情報コーディネーターとしてマッチング支援する。



企業連携によるインフラビジネス展開支援

- ・地元で伝統ある水産関連事業を“成熟産業”から“成長産業”へ
- ・技術ニーズとして拡大余地のあるアジアへ売り出すプログラムを支援

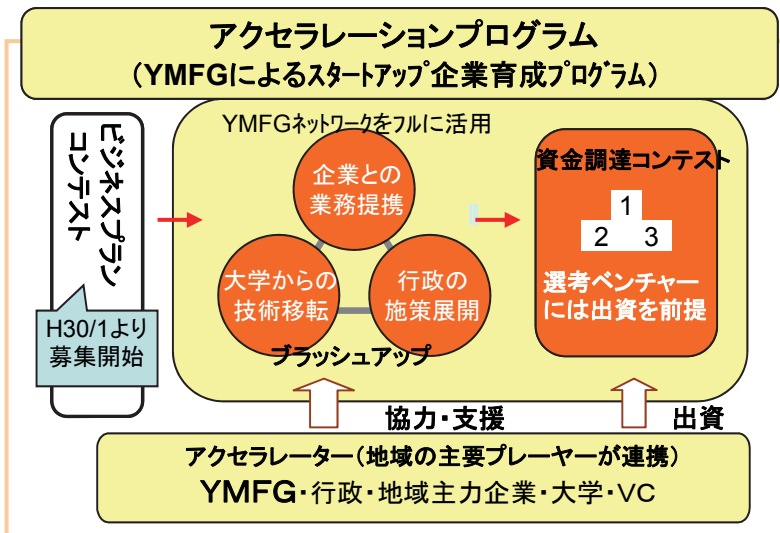
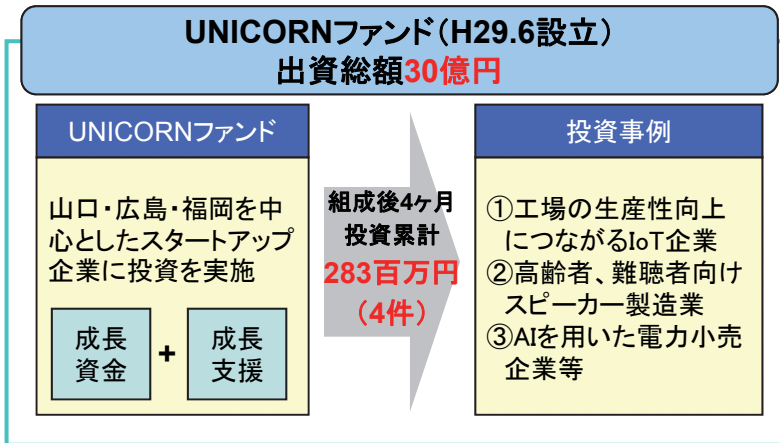


- ・YMFGZONEプランニングにて、JICA制度である「中小企業海外展開支援事業」の申請に必要な企画書作成等の支援業務を受託予定。
- ・今後の事業者の海外展開について支援していく。

ファンド投資ビジネスの状況

ファンド投資ビジネスへ参入し、企業のライフステージに応じたリスクマネー投入により収益源を多様化するとともに、将来のビジネスシーズを発掘する。

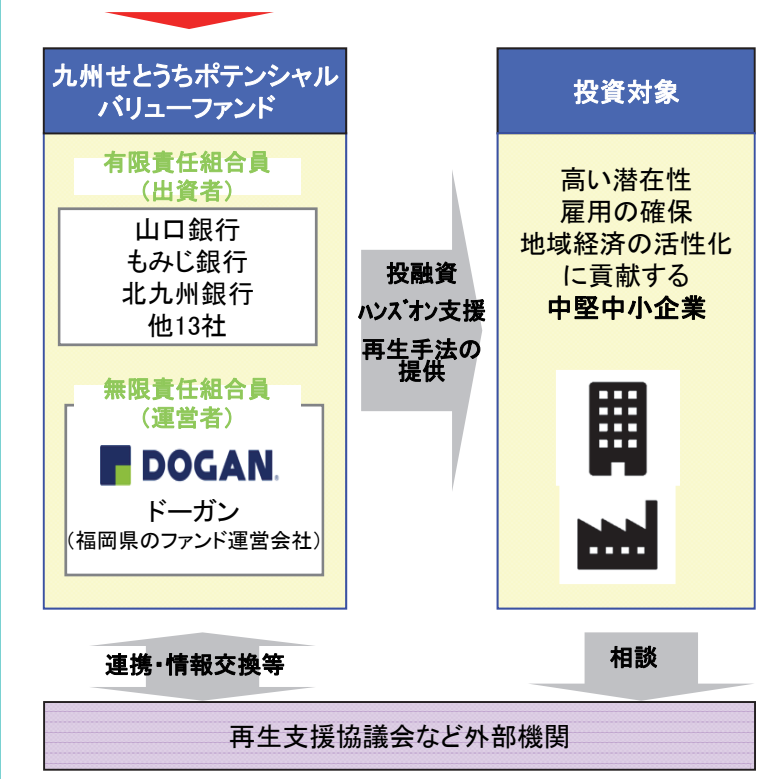
ベンチャー企業育成ファンド



事業承継・事業再生ファンド

九州せとうちポテンシャルバリューファンド(H29.10設立)
総額23億円(うちグループ出資8億円)

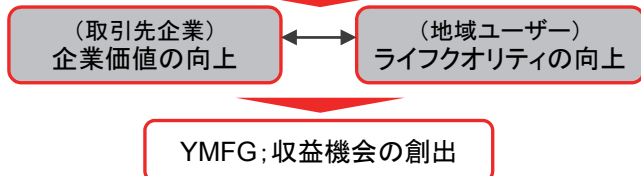
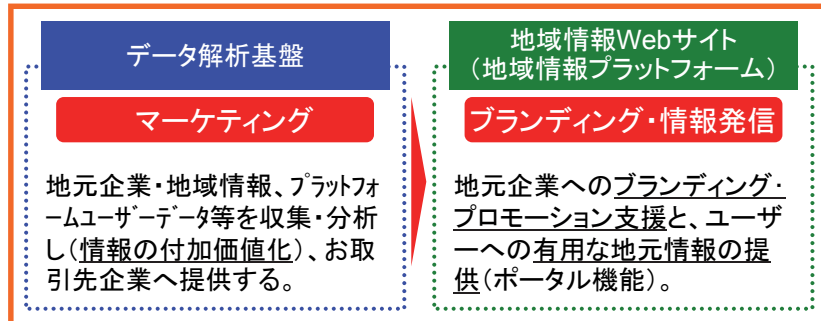
山口・広島・九州の中小企業の事業承継・事業再生を支援し、地域活性化や地域雇用の確保に貢献するため、**地元の事業会社とともに、ファンドにグループ3行が出資**



フィンテックへの取り組みについて

地域プラットフォーム構築について

・YMFGの持つ情報やネットワークを駆使し、情報発信を通じて、地元企業とヒトをつなぐプラットフォーム(地域情報Webサイト)を構築する。



AIを活用したビジネスマッチング

YMFGのもつ豊富な情報網にAI分析を活用し、効率的かつ有効なビジネスマッチングを実現する(H29/下期に実証実験を行う)。



自動家計簿ソフト「Money Forward for YMFG」

グループ3行の口座情報をはじめ、その他金融機関の口座情報やカード利用履歴等、2,600を超えるサービスが一括管理可能で、節約ポイント等のアドバイスも提供。



個人ユーザー向けアプリ

ロボアドバイザーによる資産運用

(株)お金のデザインと共同開発し、スマホで出来る資産運用サービス「THEO+」をグループ3行のお客さまに提供開始(H29/4)。



プロの資産運用を、誰でも簡単に、スマホで!

世界に資産を。
はじめよう、ロボアドバイザー
THEO+ 山口銀行

スマホによる税公金決済アプリの開発

ビリングシステム(株)と提携(H29.8)し、バーコード・QRコードを利用したスマホ決済アプリを共同開発する(H29年度中に提供予定)。

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用

定型作業など人間の判断を要しない業務をRPA化し、労働生産性向上と業務可視化によるBPRを実現する。



▶ 実証実験等を経て、H29/下期中に導入予定 ※実証実験で対象業務の約40%削減効果

労働生産性の向上への取り組み

抜本的な事務効率化等により労働生産性を高め、人的資源を捻出する。

働き方改革への取り組み

後方事務
ゼロ化

今後の展開

・働く場所と時間の多様化
・業務特性に応じた報酬体系等

営業店の後方事務ゼロ化への取り組み

業務の合理化・
簡素化・廃止

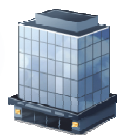


新営業店端末
を活用した効率
化



店頭・ATMに指静脈認証
システムを導入

本部への
業務集中化



- ・指認証・対話型取引開始
- ・窓口一線完結取引拡大
- ・タブレット導入・業務拡大
- ・インターネット取引の拡大
- ・行内手続きの見直し

システム導入や業務見直し等により
後方事務ゼロ化を推進。
平成29年9月末時点で**約19,000時
間／月間**(人員換算で**約120人**)相
当の事務削減を実現。

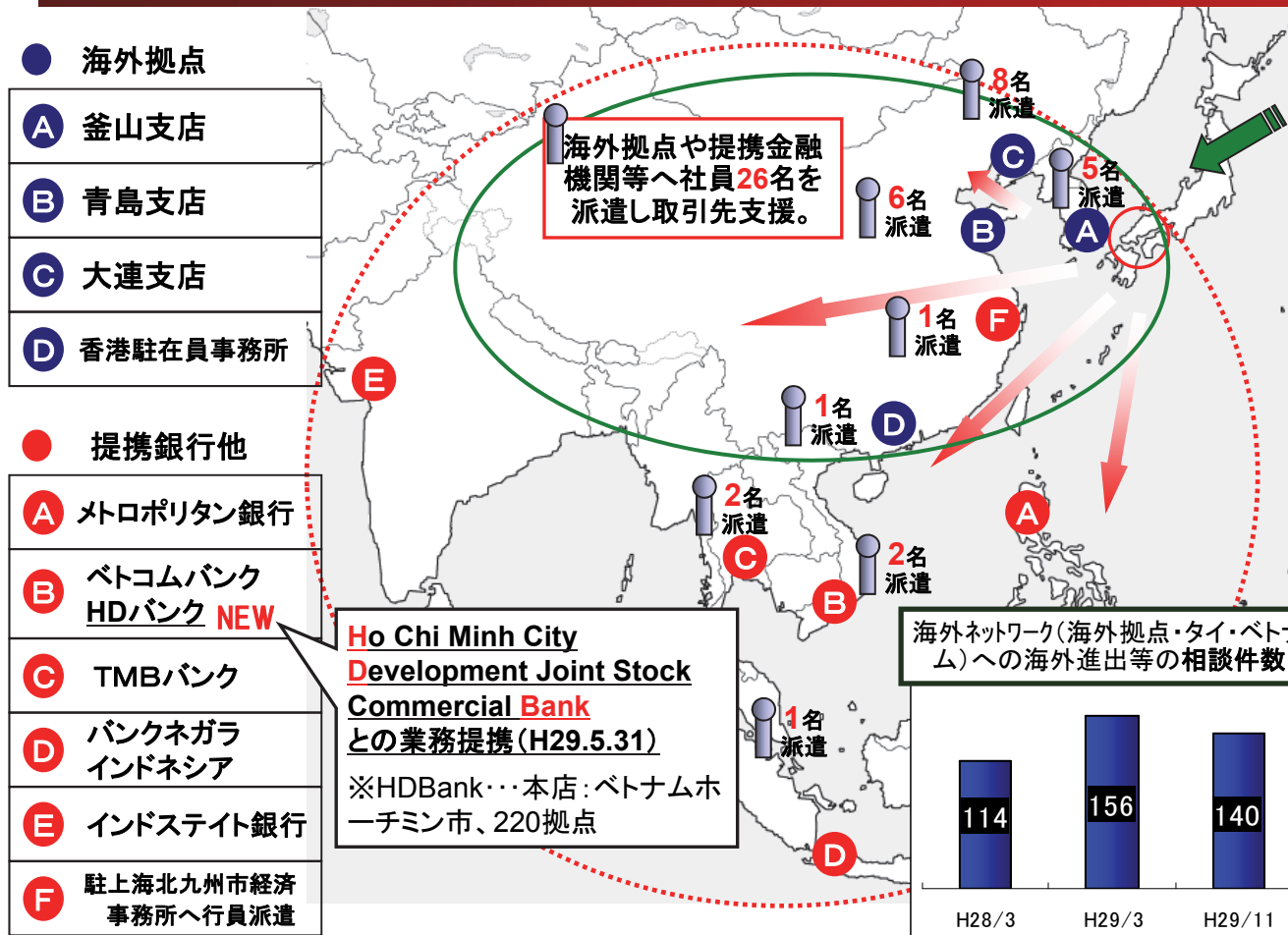
- ・営業店システム更改 約6,000時間
- ・営業店事務変革約13,000時間

アフターフォロー集中化(予定)

人的資源の戦略的な活用へ

アジアYMFGネットワーク

- ▶ 1973年韓国釜山へ邦銀初の出店(以降、中国大連・青島へも出店)⇒アジア出店の長い歴史(40余年)
- ▶ 中国国内で人民元の取扱いが可能な数少ない地方銀行(スタンドバイ・クレジット対応に他行優位性)
- ▶ アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践(ベトナムHDバンクとの提携開始)



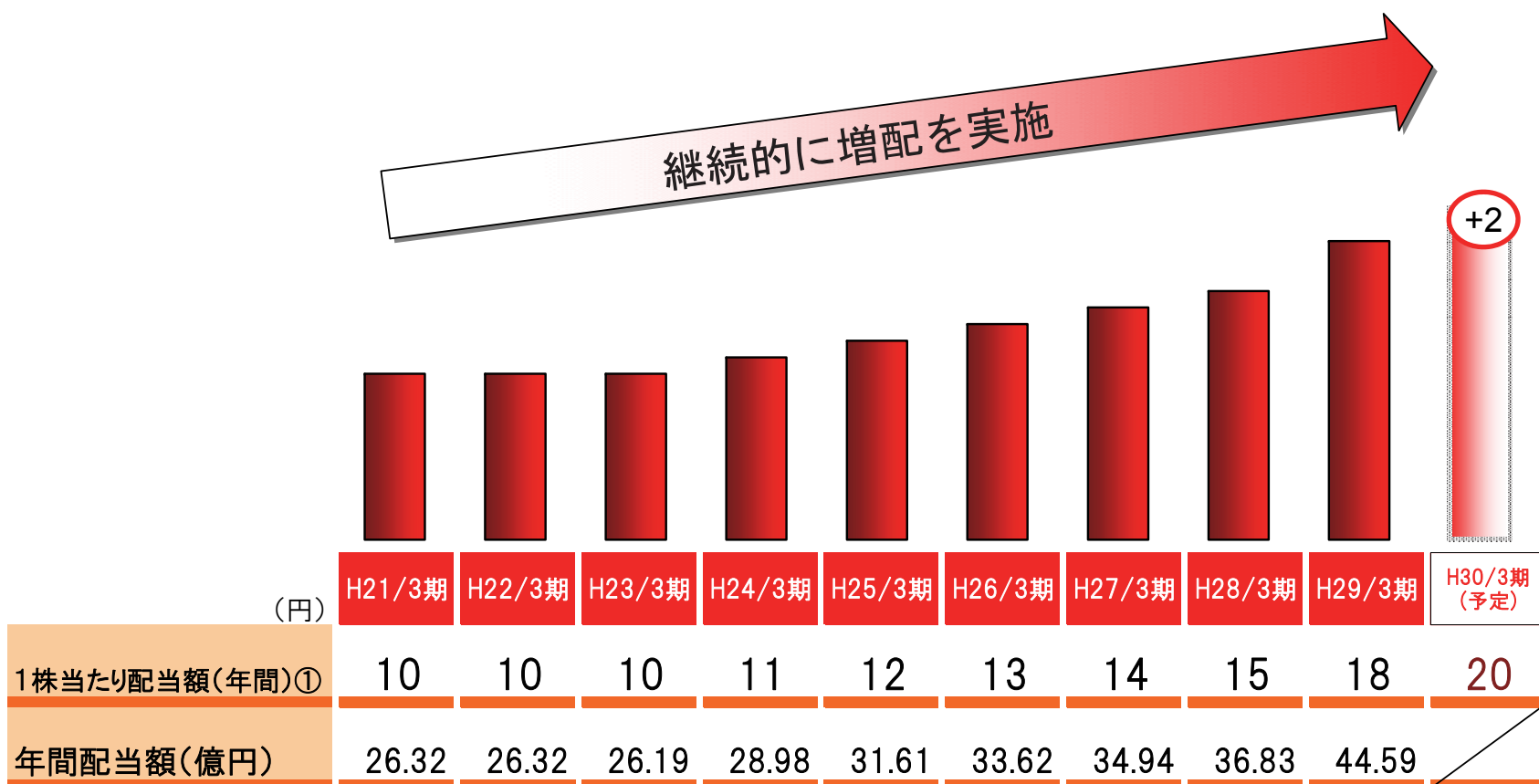
◆人民元の取扱い
中国国内で人民元の取扱いが可能な数少ない地方銀行

◆スタンドバイ・クレジット
・山口銀行と日本政策金融公庫にて業務提携(H29.6.28締結)
日本公庫の取引先の海外現法等に対し日本公庫からのクレジット差入れによる円滑な資金供給。
⇒10月30日に第1号案件実行(150万人民元)
・現在、国内銀行の19行よりスタンドバイ・クレジット差入れで融資実行。

Ho Chi Minh City Development Joint Stock Commercial Bank との業務提携(H29.5.31)
※HDBank・・・本店:ベトナムホーチミン市、220拠点

配当について

- ・中長期的な安定配当を基本とした株主還元を実施していく。
- ・FG設立以来、継続的に増配を実施。平成30年3月期は2円増配を予定。



参考資料編

YMFG中期経営計画(FY28~30)の位置づけ

現状認識

<内部環境>

- ・預貸金収支の縮小
(収益構造として有価証券割合増)

<外部環境>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・貯蓄から投資の流れ
- ・相続、資産承継ニーズ増加

<組織>

- ・柔軟性、スピード感の重要性が増している

<人材>

- ・コンサルティング人材の不足
- ・専門人材の戦略的配置が不十分

YMFG中期経営計画

目指すべき姿

○地域を育み、ともに成長する金融グループ

~Road to “YMFG ZONE” ~

○圧倒的な品質でお客様の期待を超える金融グループ

~Amazing “YMFG Quality” ~

基本目標

Change the way, Refine the quality, Design the future.

(やり方を変えよう、質に磨きをかけよう、そして未来をデザインしよう)

○金利競争からの脱却

○プロダクト・アウトからの脱却

行動指針

コンサルティング・ファースト

~全てのお客様に対し、まずコンサルティングから入る。
(コンサルティング・ファースト)を徹底する。

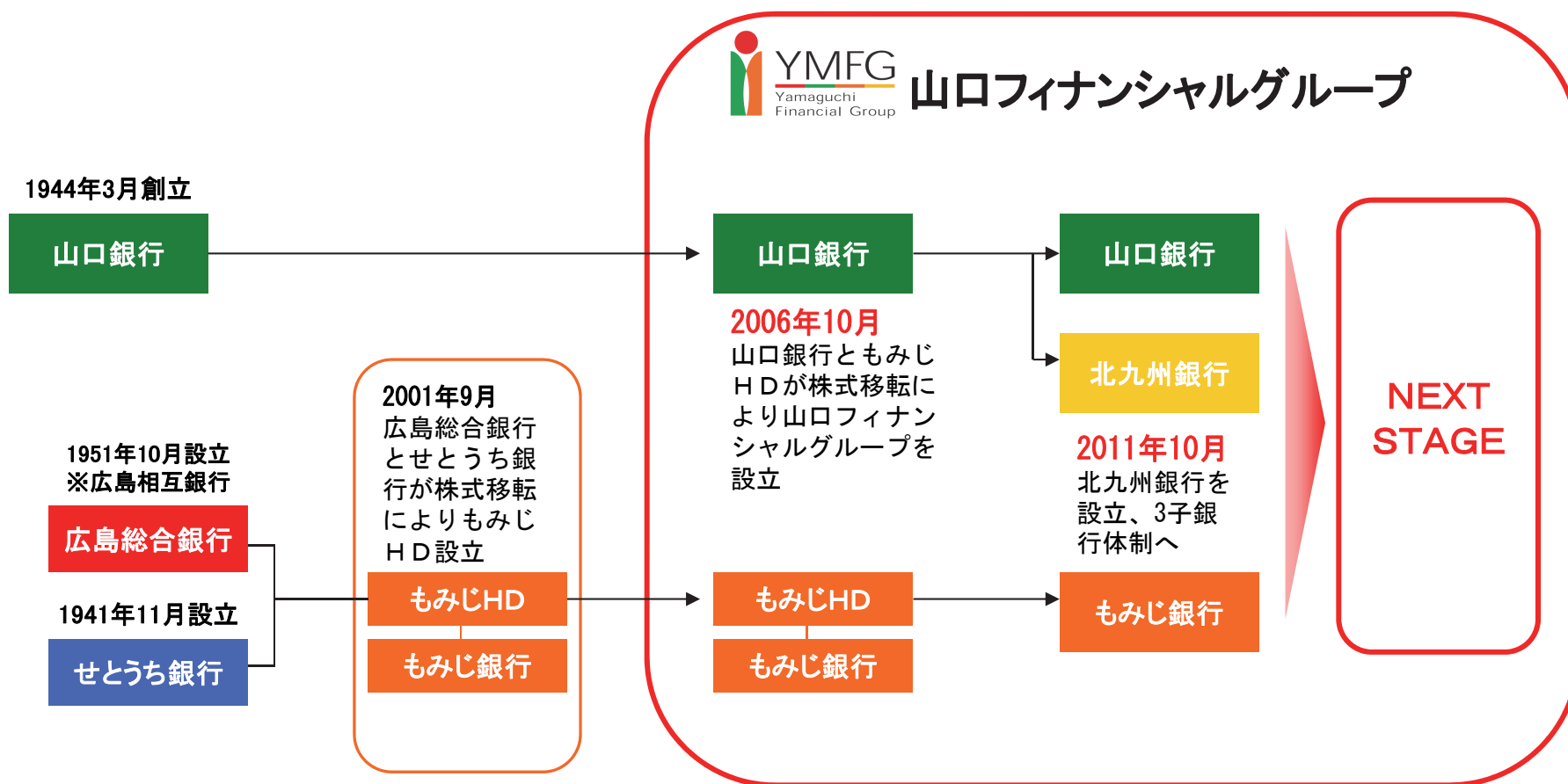
・市場環境に左右されにくい持続可能な成長モデルの確立

・地域の金融グループとして、地域の成長にコミットし地方創生に主導的役割

・高いコンサルティング意識と専門性を持った人材の育成と適切配置

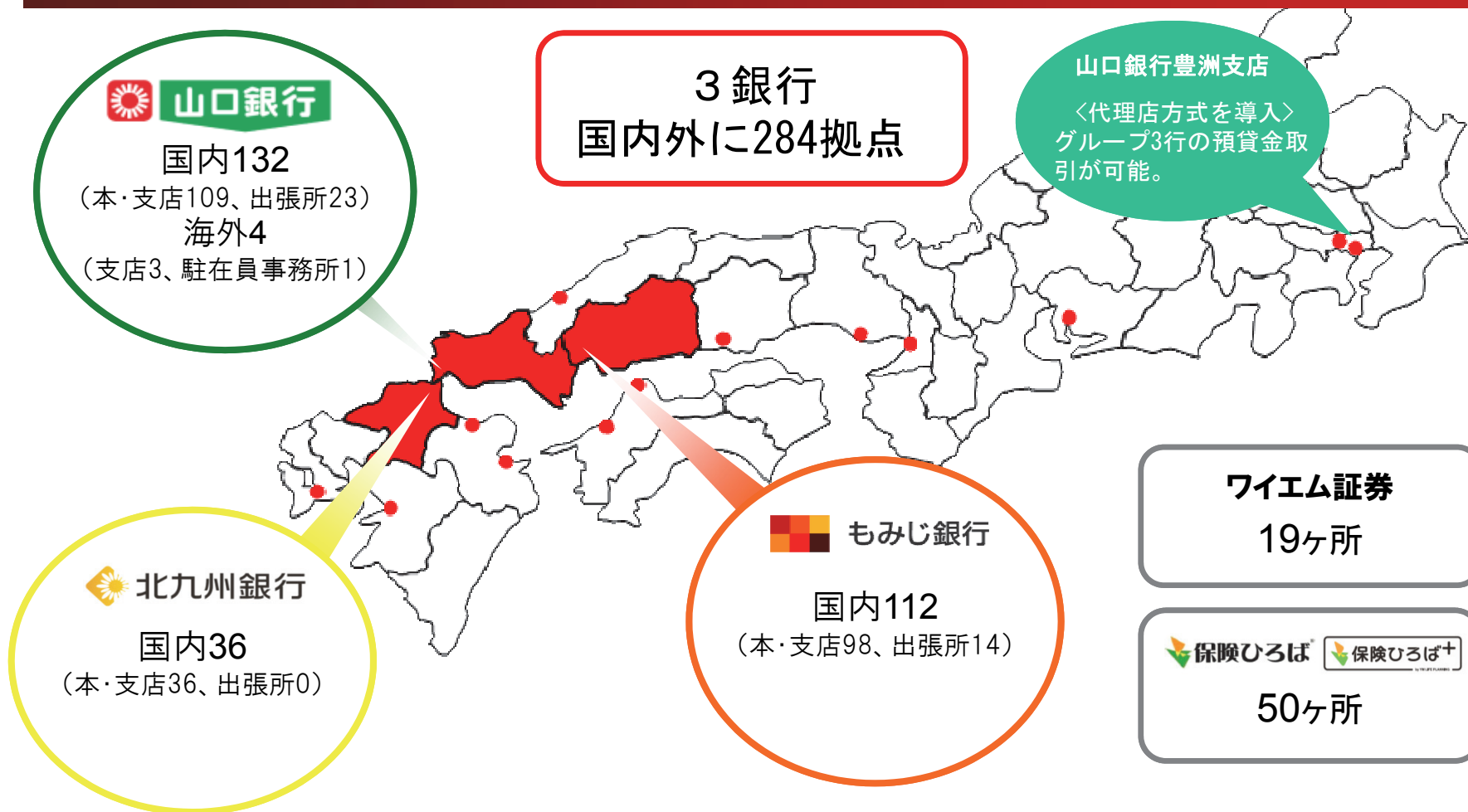
山口フィナンシャルグループの沿革

- ▶ 2006年10月に、山口フィナンシャルグループ設立（山口銀行・もみじHDが共同株式移転）
- ▶ 2011年10月に、北九州銀行設立（山口銀行の九州域内における事業を吸収分割方式にて承継）



国内店舗チャネル

- ◆グループ3銀行で国内280拠点、海外4拠点（2017年9月末現在）
- ◆その他、ワイエム証券19拠点、保険ひろば（+含む）50拠点



YMFGグループおよび事業セグメント



証券



保険



リース

ワイエムリース株式会社
YM Lease Co.,Ltd.

コンサル

ワイエムコンサルティング株式会社
株式会社YMFG ZONEプランニング

カード

with 井筒屋ウィズカード
ワイエムセゾン 株式会社

資産
運用



シンクタンク

北九州経済研究所
山口経済研究所

カード業

やまぎんカード
もみじカード

不動産管理

三友
もみじ地所

保証業務

ワイエム保証

キャピタル

山口キャピタル

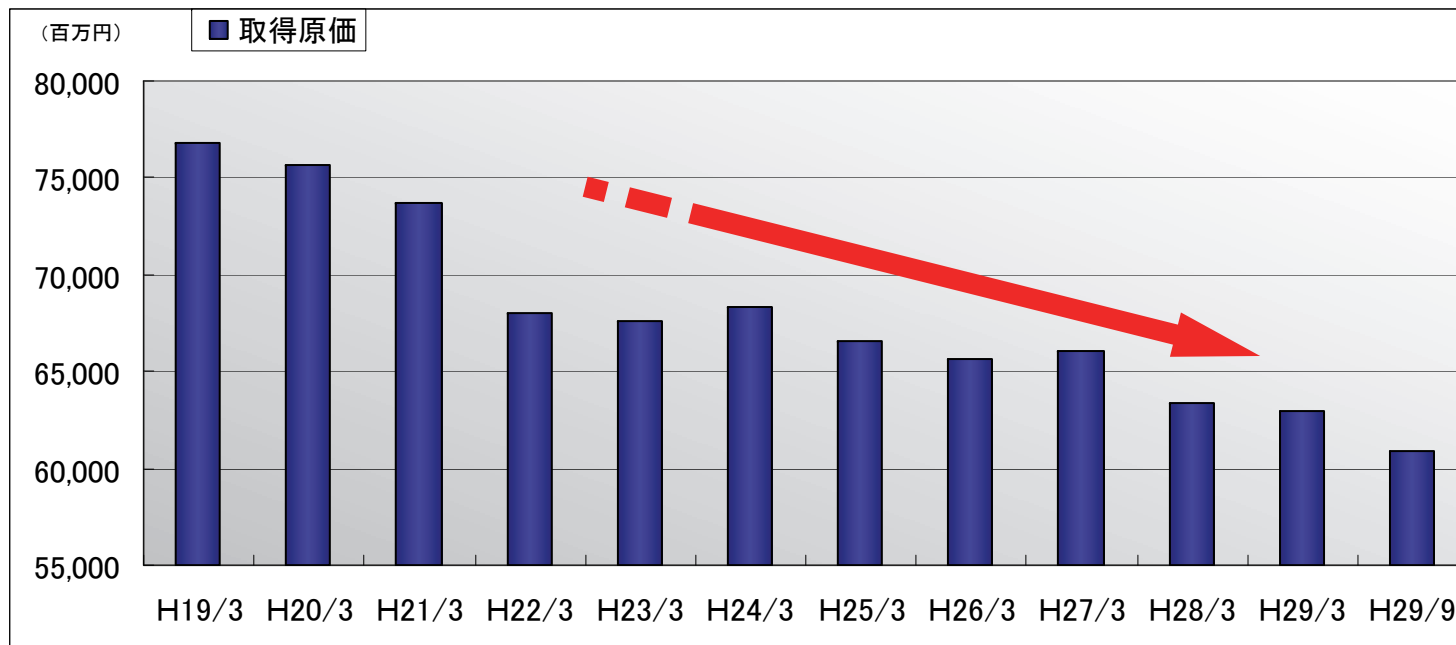
政策投資株式について

政策保有に関する方針(原則1-4)

当社は以下の方針に基づき、上場株式の政策保有を決定しております。

- ・政策投資株式については、当社グループ及び政策投資先双方の中長期的な企業価値の向上に資するか否かといった観点などから総合的に保有の是非を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて保有しません。
- ・保有する政策投資株式および政策投資先との取引のリスクとリターンを定期的に検証し、当該政策投資先との取引関係なども含めた総合的な見地から政策保有の是非を判断します。

政策投資株式の残高推移(取得原価(簿価))



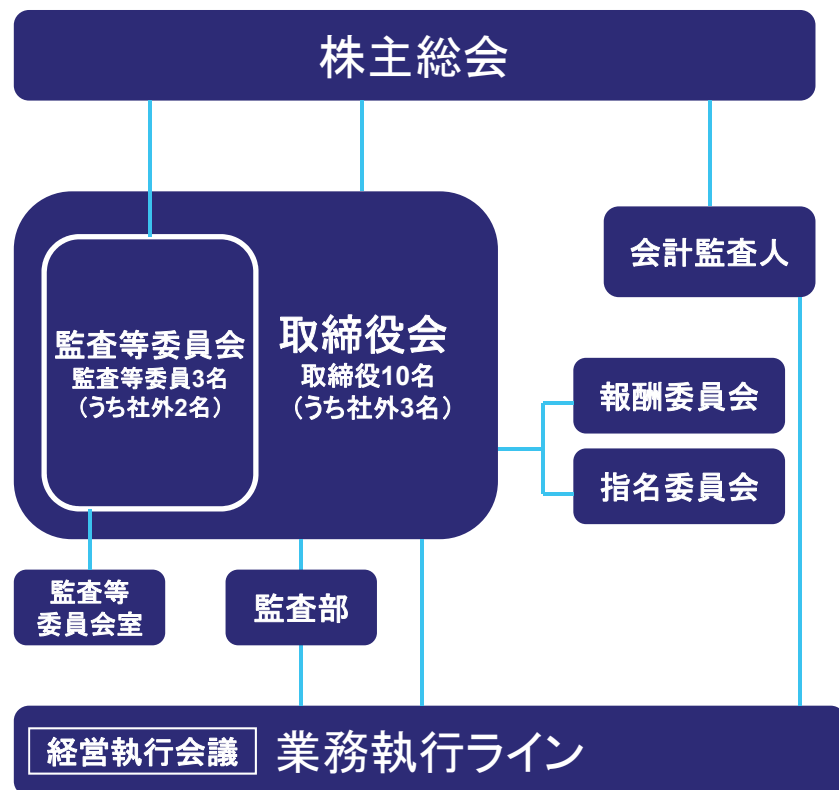
金融仲介機能の発揮に向けたベンチマーク(進捗と計画)

	平成29/3(実績)	平成29/9(進捗)	平成30/3(計画)	
共通	事業性評価融資先数と融資額	※事業性評価先を一人1社運動先と定義	約706社(計画通り)に対し 融資額+5.3%(前年比)	約2,100先に対し 融資額+10%(前年比)
	創業・第二創業の件数	1,937先	1,214先	2,500先
	条件変更先の経営改善計画の進捗状況	不調先(計画有) 264先	不調先(計画有)のうち 63先(23.9%)が順調先	不調先(計画有)264先 のうち10%を順調先へ
選択	メイン取引先増加	142先	147先	800先
	事業性評価、生産性向上に資する対話先数	2,936先	3,801先	10,000先
	メイン先のうち経営改善提案を行っている先	830先	2,536先	1,500先
	本業支援に関する 研修数・参加者数・資格取得者数	研修数6、参加者数125 資格取得者数97名	研修数4、参加者数1,016名 資格取得者数75名	研修数7、参加者数1,000名 資格取得者数110名
	本業支援に関連する 中小企業支援策を活用する先数	374先	65先	500先
独自	広域営業地盤・海外拠点・グループを活用した ソリューション提案件数	—	1,380先	2,000先

ガバナンス体制およびIR活動

あらゆるステークホルダーを重視し、ガバナンス強化およびIR活動を実践しています。

コーポレートガバナンス体制



国内外におけるIR活動の実践

国内機関投資家様向けIR活動

- 年2回のラージプレゼンテーション
- ワンオンワンミーティング（年間数十社）
- 個別投資家様からのヒアリング・ミーティング

個人投資家様向けIR

- 東京にてH28年9月、H29年9月に実施

海外機関投資家様向けIR活動

時期	場所
AUG.2013	Singapore
SEP.2014	London,Edinbrgh,Geneba,Zurich
SEP.2015	Tokyo
NOV.2015	London,Edinbrgh
SEP.2016	Tokyo

…引き続き海外および国内における海外機関投資家向けIRを検討。

債務者区分の遷移状況(平成29年3月末⇒平成29年9月末)

(1) 山口銀行

			29年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年3月末	正常先	27,678	27,146	267	2	1	0	-	260	
	要注意先	その他	3,435	281	2,866	9	10	0	0	266
		要管理先	74	-	1	73	-	0	-	0
	破綻懸念先	213	-	10	2	193	1	1	4	
	実質破綻先	76	-	-	-	-	69	2	4	
	破綻先	61	-	-	-	-	-	53	8	

ランクダウン 298億円

ランクアップ 295億円

(2) もみじ銀行

			29年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年3月末	正常先	13,236	12,762	315	0	0	0	0	157	
	要注意先	その他	3,003	261	2,683	5	3	1	2	45
		要管理先	21	-	0	20	-	-	-	0
	破綻懸念先	154	-	1	1	147	1	-	2	
	実質破綻先	53	0	0	-	-	52	0	0	
	破綻先	52	-	-	-	-	-	52	0	

ランクダウン 330億円

ランクアップ 264億円

(3) 北九州銀行

			29年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年3月末	正常先	6,789	6,505	171	1	-	-	-	111	
	要注意先	その他	2,436	243	2,147	13	0	0	0	31
		要管理先	11	-	1	10	-	-	-	0
	破綻懸念先	76	-	5	-	60	5	5	0	
	実質破綻先	23	-	-	-	-	20	2	0	
	破綻先	23	-	-	-	-	-	19	3	

ランクダウン 200億円

ランクアップ 249億円

債務者区分の遷移状況(平成28年9月末⇒平成29年9月末)

(1) 山口銀行

(億円)

			29年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28年9月末	正常先	27,037	26,048	375	2	1	0	-	609	
	要注意先	その他	3,255	401	2,671	35	12	1	0	133
		要管理先	72	13	5	48	-	0	3	0
	破綻懸念先	229	-	17	2	197	2	0	10	
	実質破綻先	88	-	-	-	-	71	2	14	
	破綻先	66	-	-	-	-	-	52	13	

ランクダウン 437億円

ランクアップ 439億円

(2) もみじ銀行

(億円)

			29年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28年9月末	正常先	13,002	12,211	450	0	0	1	0	338	
	要注意先	その他	2,979	398	2,442	14	8	3	2	109
		要管理先	15	-	2	11	-	0	-	0
	破綻懸念先	155	-	2	1	140	1	2	6	
	実質破綻先	103	0	0	-	-	51	0	50	
	破綻先	60	-	-	-	-	-	51	9	

ランクダウン 486億円

ランクアップ 404億円

(3) 北九州銀行

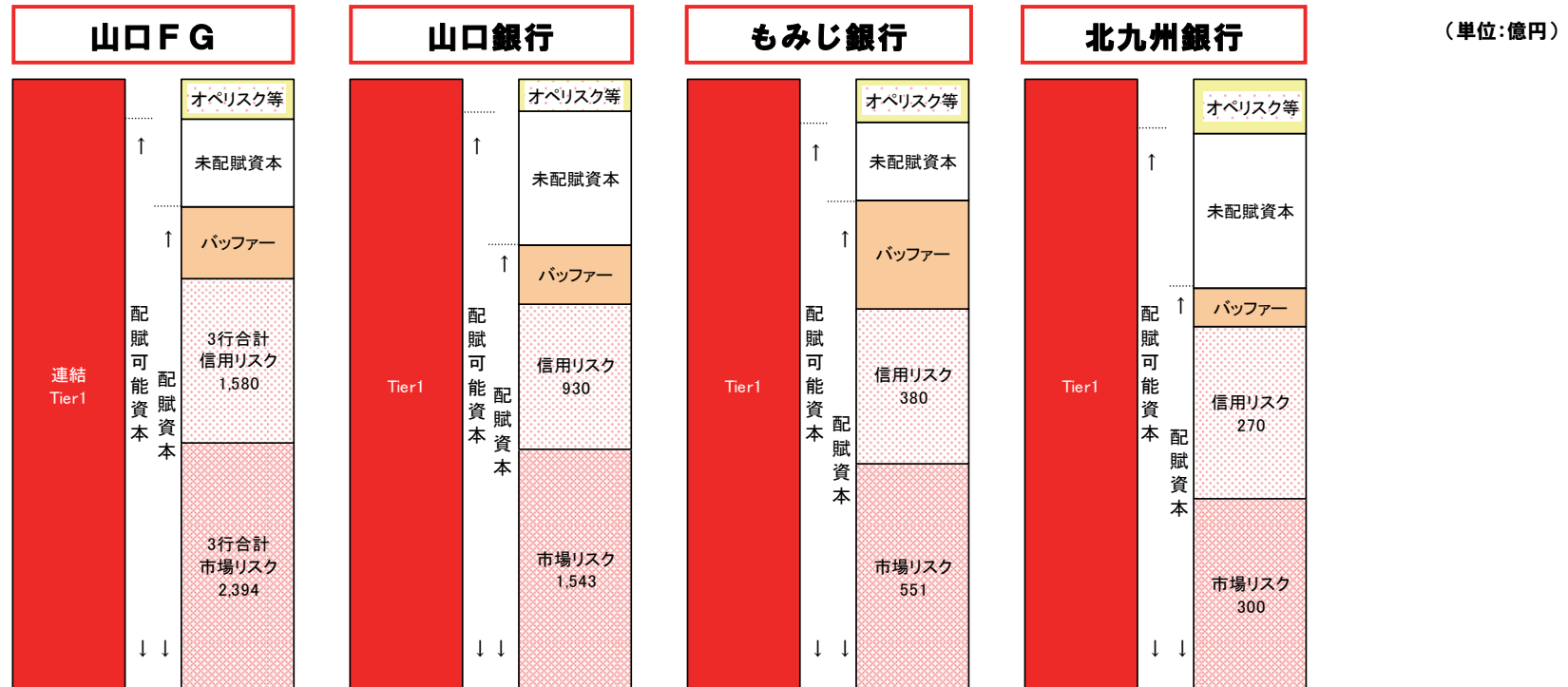
(億円)

			29年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28年9月末	正常先	6,415	6,046	208	5	-	0	3	151	
	要注意先	その他	2,565	429	2,047	12	8	3	3	61
		要管理先	16	-	3	8	0	0	0	2
	破綻懸念先	65	-	7	-	53	2	0	1	
	実質破綻先	27	-	-	-	-	20	3	4	
	破綻先	50	-	-	-	-	-	20	30	

ランクダウン 252億円

ランクアップ 441億円

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('17/9末)	578	237	160	975
	資本配賦額	930	380	270	1,580
	使用率	62.1%	62.3%	59.2%	
市場リスク	リスク量('17/9末)	756	161	215	1,132
	資本配賦額	1,543	551	300	2,394
	使用率	48.9%	29.2%	71.6%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファー : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

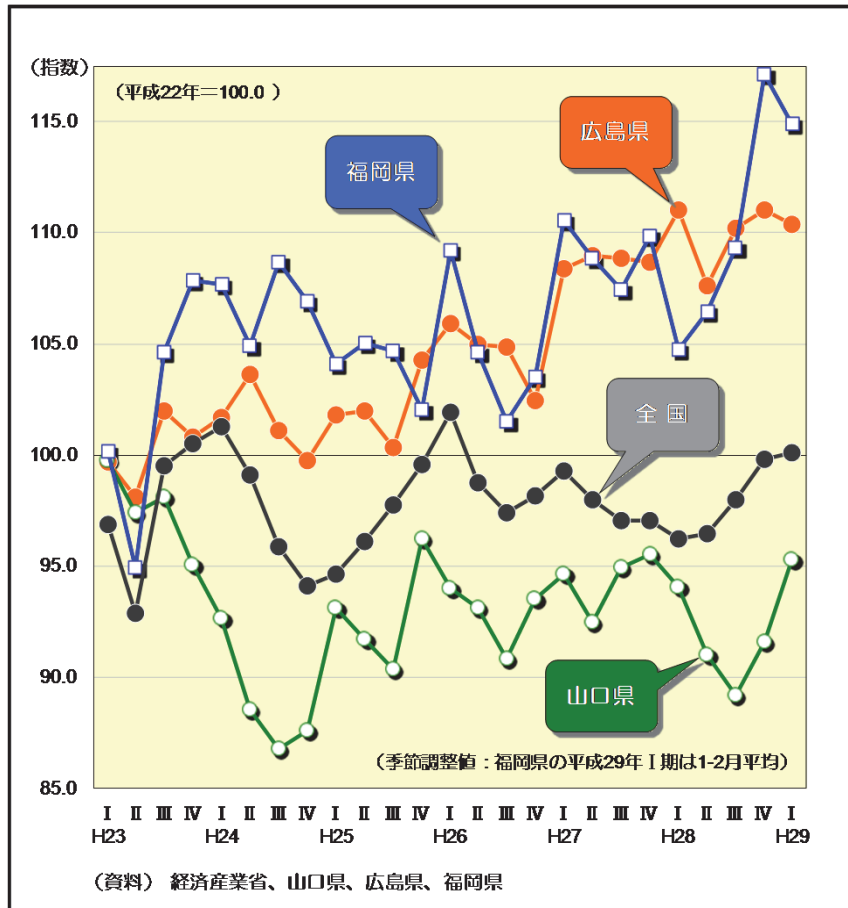
地区別経済概況

	北九州市 ～北九州地区の経済は 緩やかに拡大している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は緩やかに回復している～
生産	高水準で推移している。	化学や窯業・土石等の主要品目の稼働率が高めを維持するなど、生産活動全体で見ると底堅く推移している。	自動車が高操業を維持し、鉄鋼が高めの生産水準となっている一方、造船等の一部で弱めの動きがみられるなど、全体では横這い圏内で推移している。
設備投資	先行きの需要見通しに改善がみられる下で、持ち直しつつある。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2017年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が16.1%増加、非製造業が9.6%増加し、全体では14.2%の増加となる見込み。	平成28年度の設備投資額(山口経済研究所調べ)は、大手化学や自動車メーカー等が能力増強投資等を実施し、全体でも前年度比3.9%増加と2年ぶりに前年度を上回った。	平成28年度の設備投資額(実績見込み:日銀広島支店調べ)は、大企業・製造業の投資額が大幅に増加することを主因に、全体でも同7.9%増加と4年連続で前年度を上回っている。
輸出	北米向け自動車を中心に大幅に増加している。2016年度の北九州港の輸出額は、上期では前年同期比で18.0%減少したものの、下期では10.2%増加した。	今年1-3月期の輸出額は前年同期比20.1%増加と6四半期ぶりに前年を上回った。下関港の韓国向け半導体等製造装置、徳山港のアジア向け有機化合物や鉄道用車両等が増加している。	鉄鋼や自動車の輸出が前年を上回るなど、全体でも足元で持ち直している。
個人消費	一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては持ち直しつつある。	百貨店・スーパー販売では衣料品の不振が続いているものの、乗用車新車販売台数が昨年7-9月期以降三半期連続で前年を上回り、ドラッグストア販売額が増加傾向で推移するなど、全体では底堅く推移している。	乗用車新車販売台数、家電量販店販売額が比較的好調に推移するなど、全体でも底堅い動きとなっている。
公共工事	増加している。2017年1月～3月期の公共工事請負金額は前年同期比で110.7%増加した。	平成28年度の公共工事請負金額は、前年度比3.1%減少となった。県、市町からの発注が増加した一方、前年に岩国飛行場関連の大型工事が集中した反動もあって、国からの発注が減少した。	平成28年度の公共工事請負金額は、前年度比2.8%減少と減少傾向が続いている。
住宅建築	堅調に推移している。2017年度の北九州市の新設住宅着工戸数は前年比で2.9%増加した。	平成28年度の新設住宅着工戸数は、前年度比8.1%増加と2年連続で前年度を上回った。分譲マンションの着工が減少した一方、持家の着工が2年連続で増加し、貸家の着工も前年度比で約1割増加した。	平成28年度の新設住宅着工戸数は、前年度比9.0%増加と2年連続で前年度を上回った。持家、貸家、分譲がいずれも前年度を上回る水準で、緩やかな増加傾向を辿った。
雇用情勢	引き続き改善しており、2017年3月の有効求人倍率は1.35倍となっている。	今年1-3月期の有効求人倍率が1.44倍と25年ぶりの高水準で推移するなど、労働需給が逼迫している。	今年1-3月期の有効求人倍率は1.70倍で平成4年10-12月期以来25年ぶりの高水準となるなど、労働需給が逼迫している。
企業倒産	2017年度の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数、負債額ともに前年を下回った。	平成28年度の倒産件数、負債総額がいずれも前年度を上回った。但し、件数、負債総額ともに過去10年間で27年度に次ぐ低水準となっている。	平成28年度の倒産件数は3年連続で前年度を下回り、過去10年間で最も少なく、倒産は沈静化した状況が続いている。

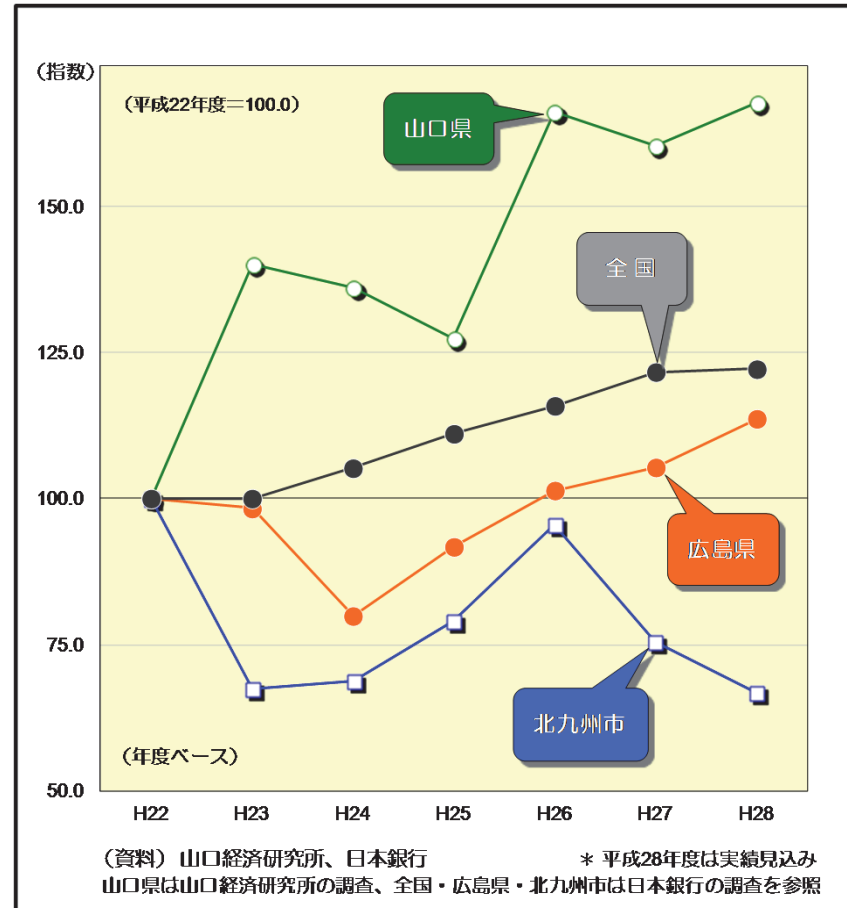
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- ◆ 鉱工業生産指数：化学等の生産が高水準で推移するなど、全体でも堅調に推移
- ◆ 設備投資計画額（平成28年度）：山口県（前年度比+3.9%）が2年ぶりのプラス、広島県（同+7.9%）も4年連続のプラス。一方、北九州市（同▲11.3%）は2年連続のマイナス。

鉱工業生産指数の推移



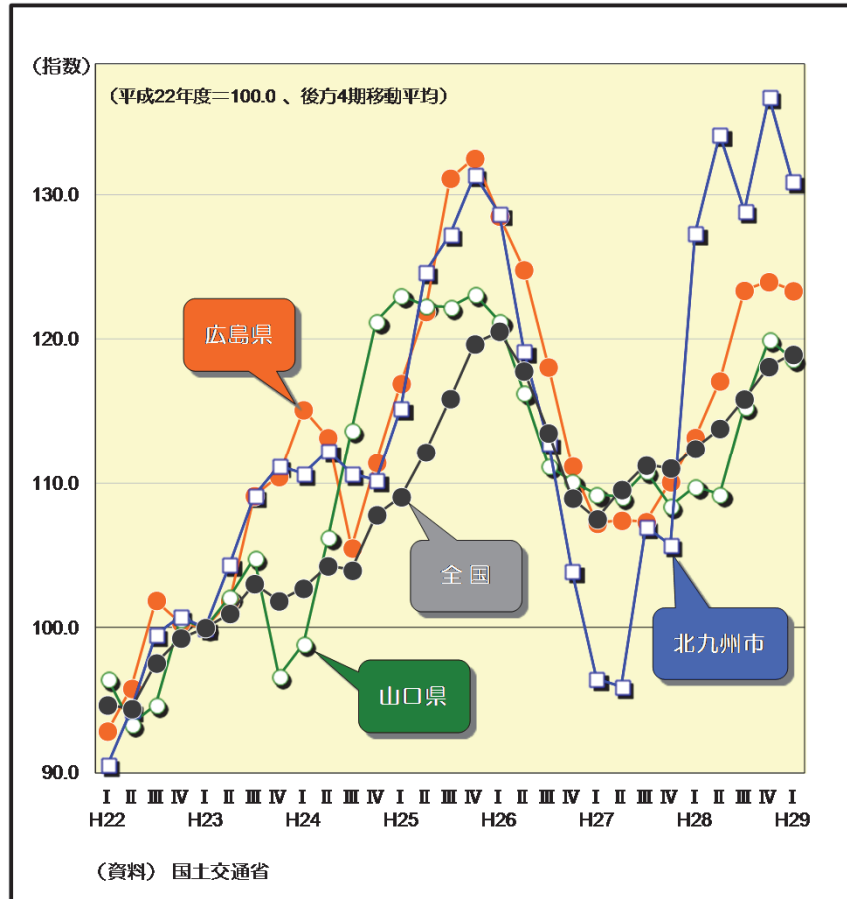
設備投資額の推移



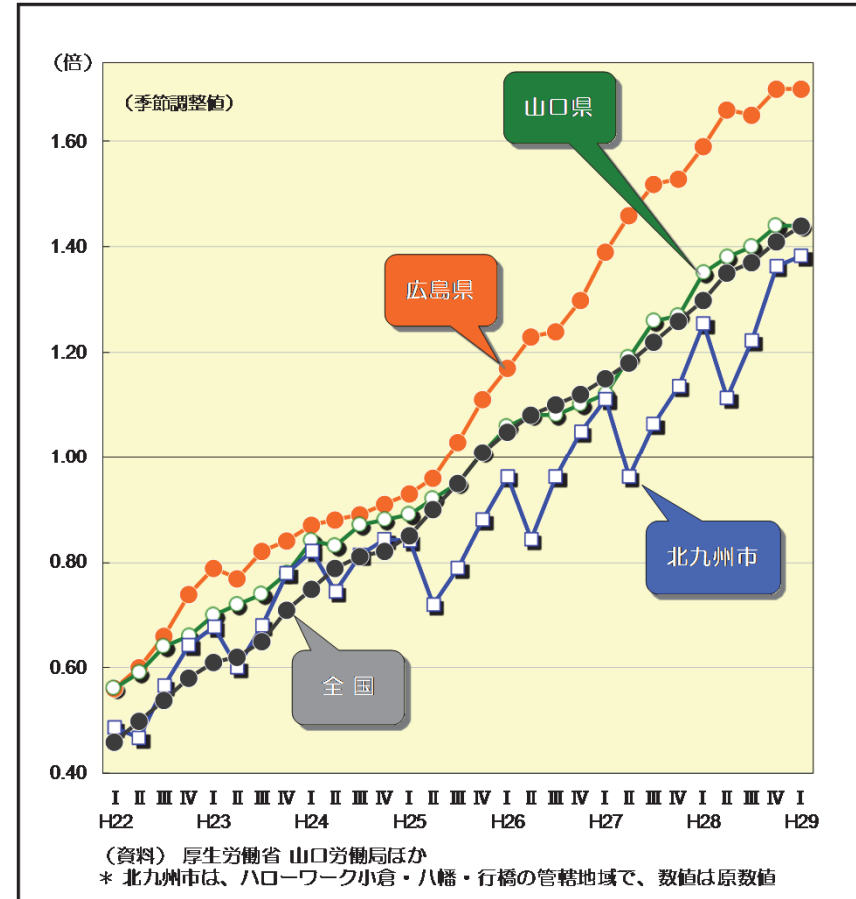
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

- ◆住宅着工戸数：平成28年度の着工戸数は前年度を上回る水準
- ◆雇用情勢：有効求人倍率が25年ぶりの高水準となるなど、労働需給は逼迫

新設住宅着工戸数の推移

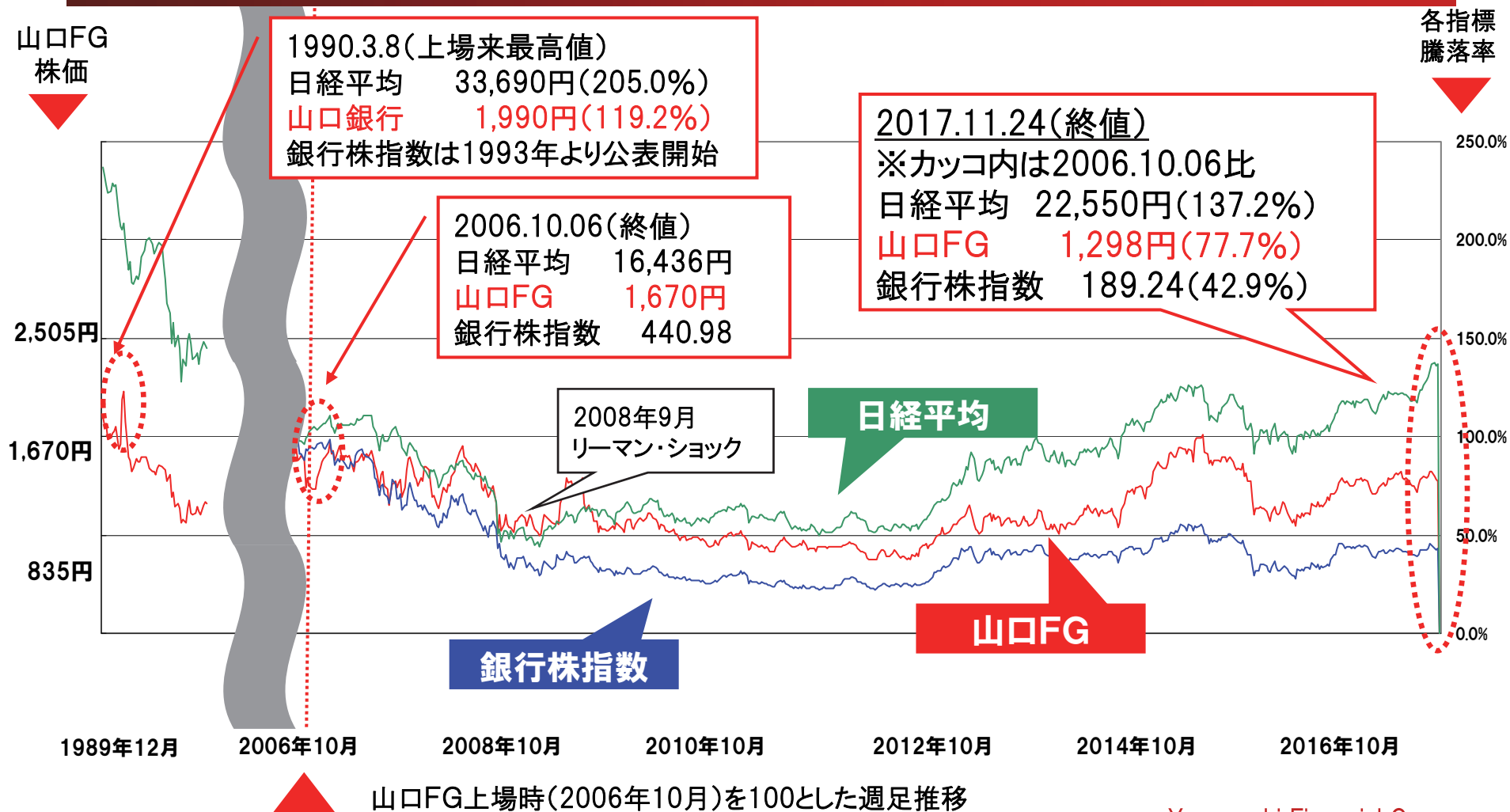


有効求人倍率の推移



株価推移

- 2006年10月に上場して以降、2007年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- 平成29年11月24日時点の山口FG株価は1,298円(山口FG上場時比77.7%)。



業績推移(1)FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	29/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	579	1,138	555	1,148	542	1,035	498	1,040	546	48
コア業務純益	150	286	130	314	148	251	99	283	201	102
経常利益	253	498	210	473	259	497	251	467	272	21
当期利益	158	312	134	305	174	322	169	315	187	18
ROE	6.11%	6.04%	5.06%	5.61%	6.09%	5.62%	5.81%	5.31%	5.99%	0.18%
総資産	93,143	96,350	97,383	101,951	100,329	104,380	101,666	102,257	103,358	1,692
BIS比率	12.62%	12.69%	13.21%	13.43%	12.94%	13.37%	13.52%	13.91%	14.84%	1.32%

3行合算

(億円)

	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	29/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	544	1,073	527	1,087	518	976	463	953	493	30
資金利益	477	949	473	974	478	925	436	891	462	26
役務取引等利益	63	123	60	125	62	118	57	118	61	4
経費	385	768	383	750	350	692	354	680	286	△ 68
人件費	174	346	166	329	162	323	164	310	145	△ 19
物件費	191	385	194	380	164	326	163	323	120	△ 43
コア業務純益	158	304	143	336	168	283	109	272	207	98
経常利益	250	500	225	497	282	533	262	459	274	12
当期利益	163	330	155	321	204	370	183	317	201	18
与信関係費用	△ 38	△ 69	△ 27	△ 41	△ 14	△ 35	△ 27	△ 19	△ 10	17

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2)各行単体

各行単体

(億円)

		25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	29/9期 (半期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	291	577	289	594	276	507	241	500	264	23
	資金利益	252	505	258	535	259	504	235	470	252	17
	役務取引等利益	39	76	37	77	39	74	35	72	38	3
	経費	192	380	189	369	166	324	168	327	138	△ 30
	人件費	84	166	78	155	76	150	78	149	69	△ 9
	物件費	97	196	100	195	78	154	77	157	59	△ 18
	コア業務純益	99	197	99	224	109	183	72	172	125	53
	経常利益	162	306	147	313	184	347	125	269	187	62
	当期利益	100	189	98	200	132	247	86	185	137	51
	与信関係費用	△ 25	△ 47	△ 10	△ 6	0	△ 15	△ 4	1	△ 1	3
もみじ銀行	コア業務粗利益	198	386	183	382	187	356	166	340	171	5
	資金利益	176	346	165	340	168	319	149	315	156	7
	役務取引等利益	20	38	19	38	18	35	19	38	19	0
	経費	150	298	148	289	137	274	138	261	107	△ 31
	人件費	68	138	67	132	63	129	64	119	54	△ 10
	物件費	73	145	72	140	64	127	62	122	44	△ 18
	コア業務純益	48	88	34	93	50	81	28	78	64	36
	経常利益	78	173	60	154	84	154	114	157	63	△ 51
	当期利益	57	129	45	106	63	104	81	109	47	△ 34
	与信関係費用	△ 14	△ 22	△ 10	△ 25	△ 15	△ 18	△ 9	△ 11	△ 4	5
北九州銀行	コア業務粗利益	53	108	54	110	55	112	55	112	57	2
	資金利益	48	97	49	98	50	102	52	105	53	1
	役務取引等利益	3	8	4	8	3	8	3	7	3	0
	経費	43	89	45	91	46	93	47	91	40	△ 7
	人件費	20	41	20	41	21	43	21	42	21	0
	物件費	20	43	21	43	21	43	22	43	16	△ 6
	コア業務純益	10	19	9	18	8	18	8	21	17	9
	経常利益	8	20	17	29	14	31	22	32	22	△ 0
	当期利益	4	11	10	15	9	18	15	22	16	1
	与信関係費用	2	△ 0	△ 7	△ 9	0	△ 2	△ 12	△ 8	△ 3	9

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
国内貸出金合計	32,070	32,696	32,931	34,135	34,123	34,496	34,999	35,908	36,731	1,731
法人貸出金	21,973	22,468	22,378	23,379	22,989	23,021	23,067	23,608	24,018	950
大企業	10,323	10,138	10,252	10,709	10,874	10,535	11,015	11,209	11,611	596
中堅企業	904	969	957	932	948	926	897	893	871	△ 25
中小企業等	10,745	11,360	11,168	11,737	11,167	11,559	11,155	11,506	11,535	379
地公体	4,852	4,941	5,234	5,296	5,586	5,728	6,080	6,207	6,494	414
外郭団体	146	93	61	71	38	62	31	74	47	15
個人ローン	5,098	5,193	5,257	5,387	5,509	5,683	5,820	6,016	6,171	350
住宅ローン	4,376	4,491	4,576	4,723	4,863	5,017	5,162	5,343	5,493	331
その他ローン	721	701	681	664	645	665	658	672	677	19

もみじ銀行

(億円)

	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
国内貸出金合計	18,975	19,283	19,539	20,063	20,429	20,345	20,677	21,110	21,668	991
法人貸出金	12,406	12,152	12,154	12,358	12,366	12,126	12,280	12,682	13,256	976
大企業	3,553	3,290	3,248	3,336	3,035	3,020	2,793	2,805	3,010	216
中堅企業	600	611	603	643	647	608	612	682	671	58
中小企業等	8,252	8,249	8,302	8,378	8,683	8,498	8,874	9,194	9,575	701
地公体	2,447	2,819	2,988	3,175	3,449	3,416	3,371	3,200	3,168	△ 203
外郭団体	69	76	60	69	61	58	61	57	57	△ 3
個人ローン	4,051	4,235	4,335	4,460	4,551	4,743	4,964	5,169	5,186	221
住宅ローン	3,482	3,672	3,804	3,948	4,041	4,403	4,631	4,837	4,860	228
その他ローン	569	562	530	512	510	339	332	332	325	△ 6

北九州銀行

(億円)

	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
国内貸出金合計	7,748	8,046	8,417	8,691	9,074	9,552	10,074	10,395	10,745	670
法人貸出金	6,014	6,227	6,356	6,455	6,624	6,930	7,286	7,431	7,619	333
大企業	825	916	933	934	933	891	952	908	926	△ 26
中堅企業	504	500	496	495	498	533	558	567	561	3
中小企業等	4,684	4,810	4,926	5,026	5,191	5,506	5,775	5,955	6,131	356
地公体	388	378	559	659	810	898	978	1,047	1,109	130
外郭団体	74	89	83	59	53	50	37	31	17	△ 19
個人ローン	1,271	1,350	1,418	1,516	1,586	1,672	1,771	1,884	1,997	226
住宅ローン	1,006	1,069	1,129	1,207	1,269	1,342	1,428	1,541	1,663	235
その他ローン	264	281	289	308	317	330	343	343	334	△ 8

*計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

Yamaguchi Financial Group

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
預金		48,861	51,281	51,655	54,467	52,647	55,610	53,073	51,953	53,094	21
内容別	一般	42,760	44,174	44,866	46,740	45,597	46,792	45,910	46,337	46,627	717
	うち個人	30,476	30,624	31,052	31,460	31,823	32,026	32,140	32,400	32,743	602
	うち法人	12,284	13,550	13,813	15,280	13,773	14,766	13,769	13,936	13,883	114
	公金	2,830	2,801	2,913	2,769	2,969	2,717	3,025	2,859	3,088	62
商品別	金融	3,270	4,305	3,875	4,957	4,080	6,100	4,137	2,756	3,378	△ 759
	邦貨定期性預金	27,309	28,063	28,958	30,022	29,460	31,091	28,211	25,740	26,402	△ 1,809
	邦貨流動性預金	21,327	22,719	22,223	23,533	22,978	24,318	24,547	25,926	25,711	1,164
	外貨預金	224	497	472	911	209	201	314	286	979	665

もみじ銀行

(億円)

		25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
預金		27,949	28,452	28,112	29,455	29,150	29,806	29,204	29,858	29,653	449
内容別	一般	26,348	26,513	26,518	27,237	27,233	27,423	27,292	27,899	28,353	1,060
	うち個人	19,791	19,835	20,022	20,324	20,431	20,449	20,610	20,879	21,202	591
	うち法人	6,556	6,677	6,495	6,912	6,802	6,973	6,682	7,020	7,151	468
	公金	895	1,147	834	1,469	1,156	1,626	1,163	1,321	788	△ 375
商品別	金融	705	792	759	749	761	757	747	636	511	△ 235
	邦貨定期性預金	15,900	16,081	15,529	16,493	15,978	16,230	15,441	15,564	14,892	△ 548
	邦貨流動性預金	11,981	12,314	12,519	12,897	13,107	13,496	13,678	14,214	14,689	1,011
	外貨預金	66	56	63	64	64	79	84	78	71	△ 12

北九州銀行

(億円)

		25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
預金		7,766	8,298	8,616	8,948	9,449	9,774	10,307	10,731	11,020	712
内容別	一般	7,240	7,793	8,084	8,452	8,581	9,006	9,239	9,701	9,427	187
	うち個人	4,363	4,517	4,692	4,895	4,976	5,051	5,157	5,328	5,435	278
	うち法人	2,876	3,276	3,392	3,556	3,605	3,955	4,082	4,373	3,991	△ 90
	公金	463	277	432	267	647	385	575	560	1,030	454
商品別	金融	61	227	98	228	220	382	492	468	563	71
	邦貨定期性預金	4,826	4,972	5,240	5,322	5,873	5,961	6,393	6,583	6,612	219
	邦貨流動性預金	2,842	3,242	3,310	3,547	3,506	3,752	3,859	4,086	4,353	494
	外貨預金	96	82	65	78	69	60	55	61	54	△ 0

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行 (億円)

	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
資金運用勘定計	50,390	51,041	52,804	53,425	55,682	55,389	55,922	55,732	55,275	△ 647
貸出金	31,707	32,086	32,785	33,160	34,242	34,236	34,530	35,052	36,382	1,852
有価証券	15,077	14,864	16,072	16,047	14,894	14,636	13,385	12,940	11,428	△ 1,957
コールローン	3,158	3,175	1,793	2,019	2,703	2,602	3,870	3,687	3,166	△ 704
資金調達勘定計	48,748	49,257	50,792	51,348	53,546	53,265	53,856	53,497	53,015	△ 841
預金	45,170	45,668	46,565	46,838	48,253	47,807	48,599	48,075	47,591	△ 1,008
譲渡性預金	3,327	3,209	3,488	3,745	4,763	4,918	4,488	4,514	4,577	89
コールマネー	608	664	925	896	659	624	701	812	818	117

もみじ銀行 (億円)

	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
資金運用勘定計	27,630	28,290	28,381	28,536	29,390	29,327	29,550	29,873	30,020	470
貸出金	18,418	18,763	19,120	19,376	20,060	20,221	20,383	20,618	21,181	798
有価証券	8,427	8,109	7,050	6,992	6,962	6,903	7,460	7,561	7,054	△ 406
コールローン	724	653	441	443	503	542	143	81	43	△ 100
資金調達勘定計	27,465	27,491	27,622	27,766	28,620	28,539	28,896	29,084	29,654	758
預金	25,907	26,032	26,407	26,533	27,136	27,147	27,387	27,514	28,183	796
譲渡性預金	1,379	1,249	969	980	1,270	1,208	1,129	1,071	1,052	△ 77
コールマネー	11	12	9	10	12	17	303	452	312	9

北九州銀行 (億円)

	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
資金運用勘定計	7,841	8,208	8,781	8,927	9,459	9,686	10,335	10,586	11,202	867
貸出金	7,581	7,696	8,146	8,296	8,779	9,026	9,675	9,930	10,440	765
有価証券	135	137	168	177	194	195	193	195	210	17
コールローン	89	75	47	41	28	17	2	2	17	15
資金調達勘定計	7,378	7,525	8,081	8,228	8,759	8,981	9,629	9,875	10,514	885
預金	6,775	6,937	7,459	7,618	8,034	8,173	8,475	8,577	8,993	518
譲渡性預金	556	560	617	602	712	763	932	985	1,206	274
コールマネー	42	25	1	4	0	33	211	302	304	93

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.103	1.090	1.070	1.093	1.019	1.000	0.919	0.931	0.998	0.079
貸出金利回	ア	1.339	1.313	1.262	1.248	1.191	1.186	1.122	1.112	1.090	△ 0.032
有価証券利回		0.811	0.846	0.884	0.997	0.971	0.906	0.890	0.937	1.269	0.379
コールローン利回		0.174	0.166	0.209	0.218	0.300	0.332	0.069	0.065	0.130	0.061
資金調達利回	②	0.108	0.104	0.097	0.095	0.092	0.093	0.084	0.090	0.089	0.005
預金利回		0.096	0.091	0.084	0.081	0.079	0.078	0.062	0.061	0.058	△ 0.004
譲渡性預金利回		0.116	0.111	0.094	0.097	0.095	0.091	0.027	0.022	0.016	△ 0.011
コールマネー利回		0.513	0.513	0.428	0.453	0.557	0.726	1.238	1.448	1.592	0.354
経費率	③	0.786	0.772	0.745	0.720	0.620	0.609	0.623	0.612	0.521	△ 0.102
資金調達原価	(②+③) ④	0.894	0.877	0.842	0.815	0.713	0.702	0.707	0.702	0.610	△ 0.097
預金等原価	イ	0.887	0.871	0.841	0.813	0.707	0.695	0.692	0.681	0.584	△ 0.108
預金等利回	ウ	0.097	0.092	0.085	0.082	0.080	0.079	0.059	0.057	0.055	△ 0.004
経費率		0.790	0.778	0.756	0.730	0.626	0.615	0.632	0.623	0.529	△ 0.103
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.452	0.442	0.421	0.435	0.484	0.491	0.430	0.431	0.506	0.076
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.242	1.221	1.177	1.166	1.111	1.107	1.063	1.055	1.035	△ 0.028
預証単純利鞘		0.714	0.754	0.799	0.915	0.891	0.827	0.831	0.880	1.214	0.383
もみじ銀行		25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.357	1.305	1.237	1.261	1.203	1.150	1.072	1.119	1.102	0.030
貸出金利回	ア	1.534	1.498	1.412	1.379	1.291	1.276	1.205	1.185	1.116	△ 0.089
有価証券利回		1.066	1.057	1.114	1.289	1.322	1.113	0.931	1.167	1.312	0.381
コールローン利回		0.115	0.115	0.124	0.122	0.119	0.104	0.011	0.030	0.210	0.199
資金調達利回	②	0.085	0.082	0.073	0.070	0.061	0.062	0.065	0.066	0.063	△ 0.002
預金利回		0.078	0.076	0.067	0.063	0.051	0.050	0.051	0.049	0.041	△ 0.010
譲渡性預金利回		0.114	0.118	0.116	0.115	0.099	0.095	0.039	0.031	0.017	△ 0.022
コールマネー利回		0.225	0.260	0.320	0.346	0.498	0.423	0.007	0.000	0.022	0.015
経費率	③	1.091	1.084	1.071	1.042	0.955	0.963	0.955	0.900	0.724	△ 0.231
資金調達原価	(②+③) ④	1.176	1.166	1.144	1.112	1.016	1.025	1.020	0.966	0.787	△ 0.233
預金等原価	イ	1.179	1.171	1.150	1.117	1.016	1.022	1.019	0.965	0.774	△ 0.245
預金等利回	ウ	0.080	0.078	0.069	0.065	0.053	0.052	0.051	0.049	0.040	△ 0.011
経費率		1.098	1.093	1.080	1.052	0.962	0.969	0.968	0.915	0.734	△ 0.234
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.355	0.327	0.262	0.262	0.275	0.254	0.186	0.220	0.342	0.156
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.454	1.420	1.343	1.314	1.238	1.224	1.154	1.136	1.076	△ 0.078
預証単純利鞘		0.986	0.979	1.045	1.224	1.269	1.061	0.880	1.118	1.272	0.392
北九州銀行		25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.372	1.309	1.224	1.210	1.159	1.146	1.073	1.063	1.021	△ 0.052
貸出金利回	ア	1.375	1.352	1.271	1.251	1.196	1.178	1.098	1.083	1.044	△ 0.054
有価証券利回		1.987	1.996	2.004	2.000	2.066	2.141	2.174	2.302	2.313	0.139
コールローン利回		0.395	0.401	0.454	0.470	0.484	0.563	1.772	1.708	0.603	△ 1.169
資金調達利回	②	0.138	0.130	0.117	0.111	0.102	0.100	0.074	0.069	0.074	0.000
預金利回		0.136	0.128	0.114	0.108	0.096	0.094	0.077	0.072	0.058	△ 0.019
譲渡性預金利回		0.131	0.134	0.138	0.139	0.153	0.151	0.056	0.049	0.040	△ 0.016
コールマネー利回		0.119	0.123	0.435	0.194	0.098	0.047	0.005	0.033	0.632	0.627
経費率	③	1.177	1.192	1.114	1.107	1.063	1.041	0.979	0.923	0.767	△ 0.212
資金調達原価	(②+③) ④	1.316	1.322	1.232	1.218	1.165	1.141	1.053	0.992	0.841	△ 0.212
預金等原価	イ	1.321	1.325	1.231	1.218	1.166	1.146	1.077	1.023	0.847	△ 0.230
預金等利回	ウ	0.135	0.128	0.116	0.110	0.101	0.099	0.075	0.070	0.056	△ 0.019
経費率		1.185	1.196	1.115	1.108	1.065	1.046	1.002	0.953	0.791	△ 0.211
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.054	0.027	0.040	0.033	0.030	0.032	0.021	0.060	0.197	0.176
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.240	1.224	1.155	1.141	1.095	1.079	1.023	1.013	0.988	△ 0.035
預証単純利鞘		1.852	1.868	1.888	1.890	1.965	2.042	2.099	2.232	2.257	0.158

※単位未満を切捨表示。

Yamaguchi Financial Group

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本資料に関するお問い合わせ先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 渡部

カスタマーコミュニケーション部 生木

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>